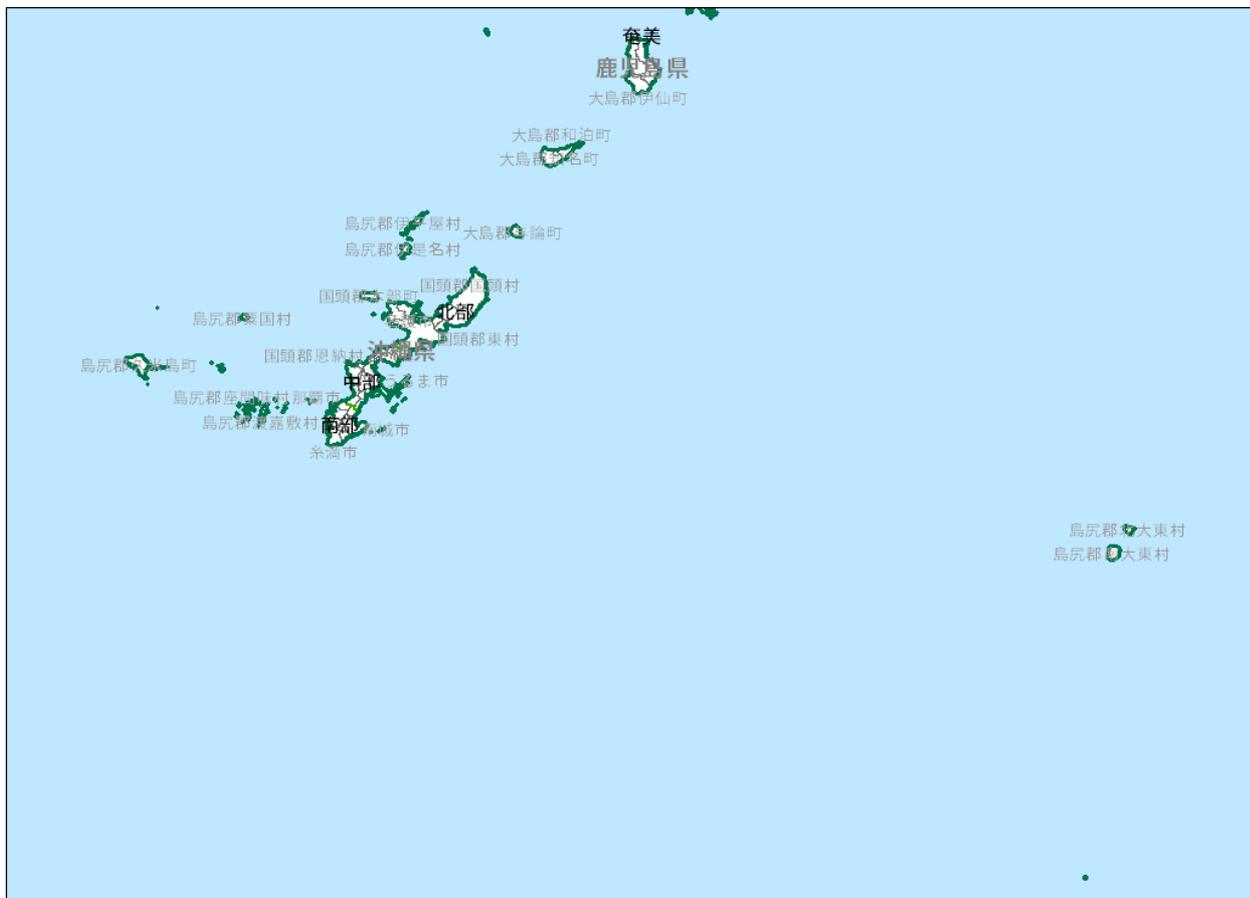


# 47. 沖繩県



## 47.沖縄県

### 目次

沖縄県	47	-	4
1. 北部医療圏	47	-	10
2. 中部医療圏	47	-	16
3. 南部医療圏	47	-	22
4. 宮古医療圏	47	-	28
5. 八重山医療圏	47	-	34

## 本書の見方

### ・「偏差値」について

各医療圏の人口当たり医療資源量の相対的な位置づけを知るために、偏差値を用いている。偏差値の計算方法は以下の通り。図表では偏差値の高低をセルの色分けで表示。

$$\text{（A医療圏のBという指標の偏差値）} = 50 + 10 \times \frac{\text{（A医療圏のBの値）} - \text{（Bの全国平均値）}}{\text{（Bの標準偏差）}}$$

※全国平均とA医療圏のBという指標の値が一致すると偏差値が50になるよう、あえて344医療圏の平均でなく、全国平均値を用いて計算している。正確に計算した偏差値とはやや異なるが、指標が全国平均値と一致すると偏差値は50となり、その地域の指標が全国平均より高いか低いかを判断しやすい。

偏差値	65以上	55～65	45～55	35～45	35未満
セルの色					

### ・出所情報

図表1	人口、65歳以上人口、75歳以上人口(2015年)、高齢者世帯	平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月
図表2	要介護者数、要介護3以上人数	平成28年度介護保険事業状況報告（年報）
図表5、6	人口の推移	平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月及び日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成30年3月 を基に各年1月の推計値を算出
	需要の推移	必要なベッド数＝(65～74歳人口)×(65～74歳の高齢者施設利用率)＋(75～84歳人口)×(75～84歳の高齢者施設利用率)＋(85歳以上人口)×(85歳以上の高齢者施設利用率) として算出
図表7	総高齢者施設・住宅定員数	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計
図表7	介護保険施設定員(病床)数	老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計
図表7	高齢者住宅定員数	有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住(特定施設)の合計
図表8	老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数	平成30年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの
図表9	有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム	
図表10	サ高住(特定施設)、サ高住(非特定施設)	平成30年6月 国土交通省・厚生労働省サービス付き高齢者向け住宅情報提供システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの
図表11	介護職員数(介護施設等)、看護師数(施設)	平成30年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの
図表14	在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成30年12月
図表15	回復期病床数	平成29年度病床機能報告 平成29年7月
図表15	地域包括ケア病床数	平成30年5月地方厚生局
図表17	訪問介護、訪問看護、通所介護、通所リハ、訪問入浴、短期入所、居宅介護支援	平成30年6月 介護サービス情報公表システムに基づいて株式会社ウエルネスが市区町村別に集計したもの

都道府県別の地図および医療圏別の図表13、図表16の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。(承認番号 平30情使、第1666号)

## 沖縄県

### ■ 人口動態と要介護者の現状

沖縄県は、人口1,433,566人である。第1号被保険者人口(65歳以上人口)は282,128人、高齢化率(65歳以上人口割合)は20%と低い。

要介護数(認定者)は42,932人、要介護認定率は15%と高い。うち要介護3以上は25,013人、要介護者に占める割合は58%と非常に高い。

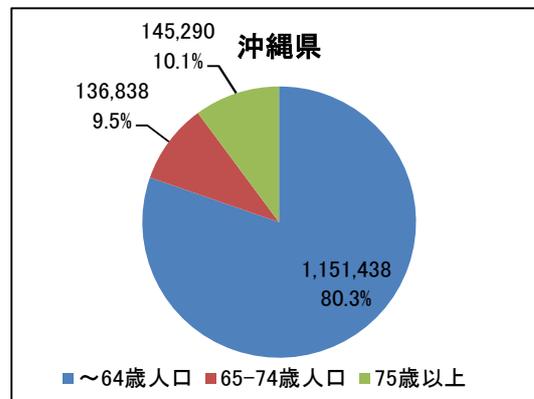
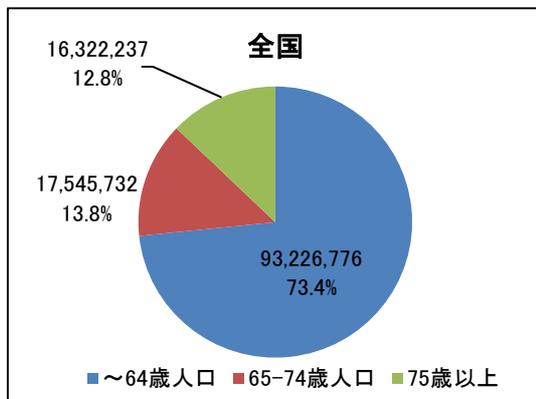
図表1 人口動態

二次医療圏	2015年人口	2015年65歳以上人口	2015年75歳以上人口	高齢化率	偏差値 *全国は標準偏差	高齢者世帯数	うち夫婦世帯比率	うち独居世帯比率
全国	127,094,745	33,867,969	16,322,237	27%	(5%)	17,668,137	34%	34%
沖縄県	1,433,566	282,128	145,290	20%	36	152,794	27%	34%

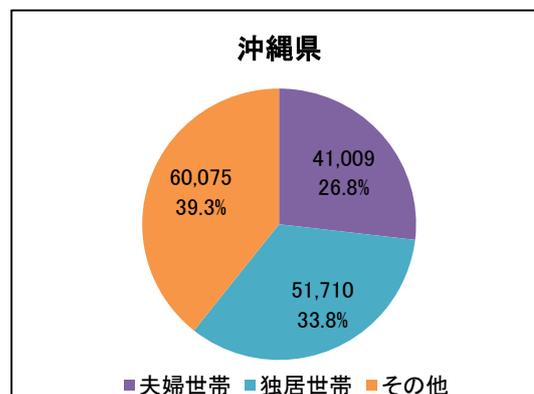
図表2 要介護者の現状

二次医療圏	要介護者数(認定者)	要介護認定率	偏差値 *全国は標準偏差	要介護3以上認定数	要介護3以上全認定者に占める比率	偏差値 *全国は標準偏差
全国	4,560,102	13%	(2%)	2,197,477	48%	(3%)
沖縄県	42,932	15%	60	25,013	58%	80

図表3 人口動態



図表4 世帯の状況



## 沖縄県

### ■ 医療・介護の需要(人口動態)

図表5に示すように、沖縄県の65歳以上人口のピークは2045年、65-74歳人口のピークは2045年、75-84歳人口のピークは2035年、85歳以上人口のピークは2045年と推計されている。75歳以上人口は、2015年が141,703(98,518+43,185)人であるが、ピーク時の2045年には253,419人まで増加すると推計され、2015年比79%増加する。

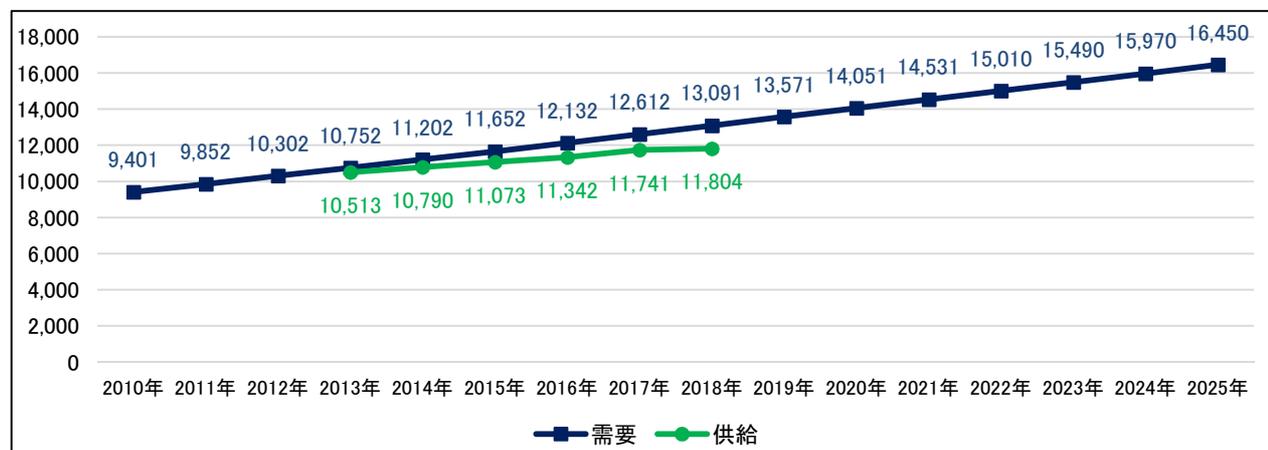
全国平均の年齢階級別高齢者施設利用率を用いて推計した高齢者施設の需要によると、沖縄県の施設需要のピークは2045年の24,807人であり、2015年の11,652人と比べ、113%増加すると推計された。

図表5 人口構成と高齢者施設需要の推移



図表6は、沖縄県の高齢者施設に関する2010年から2025年までの需要(必要ベッド数)予測と2014年から2018年までの供給量(高齢者施設の総ベッド数)の推移を表す。2014年は需要11,202人、供給10,790人と「供給<需要(-4%)」である。2018年は需要13,091人、供給11,804人と「供給<需要(-10%)」である。沖縄県の高齢者施設の供給は、需要の伸びにより、2014年の需要と供給が拮抗する状況から、2018年の不足ぎみの状況になった。

図表6 高齢者施設の需要と供給の推移予測



## 沖縄県

### ■ 介護施設の状況

総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、11,678人(75歳以上1,000人当たりの偏差値43)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が9,375床(偏差値53)、高齢者住宅等が2,303床(偏差値39)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設58、特別養護老人ホーム48、介護療養型医療施設50、有料老人ホーム43、軽費ホーム51、グループホーム40、サ高住(特定施設)47である。

高齢者施設・住宅に勤務する介護職員が偏差値73と全国平均レベルを大きく上回り、高齢者施設・住宅に勤務する看護師が偏差値52と全国平均レベルである。

図表7 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差
全国	1,485,377		91	(15.2)	1,001,413		61	(12.4)	483,964		30	(12.6)
沖縄県	11,678	0.8%	80	43	9,375	0.9%	65	53	2,303	0.5%	16	39

図表8 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	介護療養病床数	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差
全国	366,589		22	(5.9)	575,180		35	(9.9)	59,644		3.7	(4.0)
沖縄県	3,941	1.1%	27	58	4,879	0.8%	34	48	555	0.9%	3.8	50

図表9 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	軽費ホーム	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	グループホーム	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差
全国	237,141		14.5	(10.8)	23,297		1.4	(2.1)	201,436		12.3	(5.8)
沖縄県	1,029	0.4%	7.1	43	225	1.0%	1.5	51	942	0.5%	6.5	40

図表10 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住)定員数

二次医療圏	サ高住(特定施設)	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	※参考値			
全国	22,090		1.4	(1.8)	サ高住(非特定施設)	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差
沖縄県	107	0.5%	0.7	47	209,785		12.9	(6.8)
					2,326	1.1%	16.0	55

図表11 介護サービス従事介護職員数(介護施設等)、介護サービス従事看護師数(介護施設)

二次医療圏	介護職員数(介護施設等)	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	看護師数(施設)	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差
全国	1,286,309		79	(11)	120,155		7.4	(2.0)
沖縄県	15,184	1.2%	105	73	1,141	0.9%	7.9	52



## 沖縄県

### ■ 在宅支援の状況

75歳以上人口当たり在宅療養支援病院は偏差値53とやや多い。在宅療養支援診療所数は偏差値45とやや少ない。

人口当たり回復期病床は偏差値57と多い。人口あたり地域包括ケア病棟は偏差値46とやや少ない。

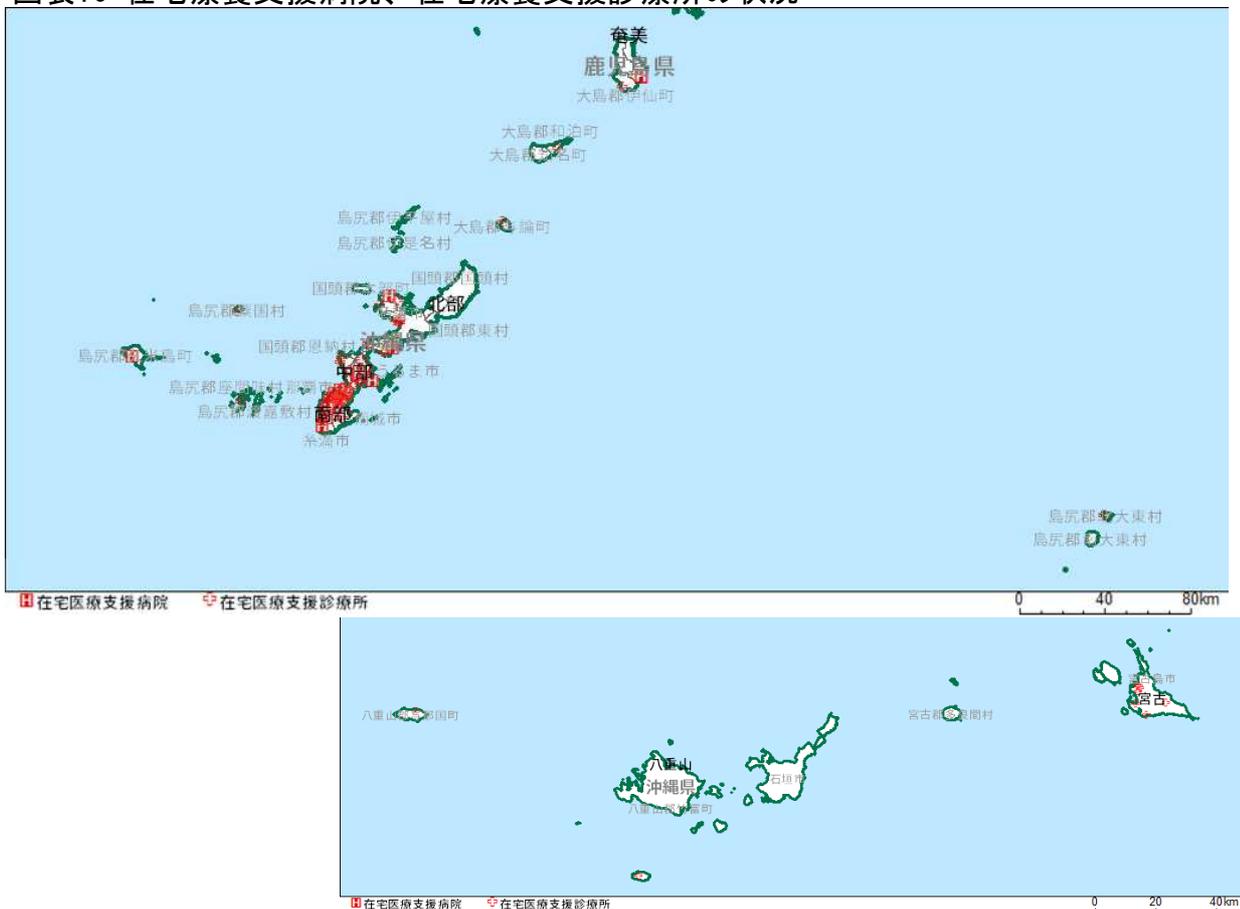
図表14 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所

二次医療圏	在宅療養支援病院	全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	在宅療養支援診療所	全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	1,386		0.1	(0.1)	14,224		0.9	(0.4)
沖縄県	15	1.1%	0.1	53	95	0.7%	0.7	45

図表15 回復期病床数、地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期病床数	全国シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	地域包括ケア病床数	全国シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	80,806		63.6	(46.5)	73,895		58.1	(57.2)
沖縄県	1,352	1.7%	94.3	57	498	0.7%	34.7	46

図表16 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所の状況



## 沖縄県

### ■ 訪問介護の状況

居宅サービスは、訪問介護の事業所数が75歳以上1,000人当たり偏差値58と多く、訪問看護が偏差値59と多く、通所介護が偏差値93と非常に多い。通所リハが偏差値70と非常に多く、訪問入浴が偏差値42と少なく、短期入所が偏差値44と少なく、居宅介護支援が偏差値73と非常に多い。訪問介護利用者数は偏差値42と少ない。

在宅介護に勤務する介護職員が偏差値50と全国平均レベル、訪問看護に従事する看護師が偏差値56と全国平均レベルを上回る。

図表17 居宅サービス事業所数

二次医療圏	訪問介護	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	通所介護	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	33,714		2.1	(0.8)	10,994		0.7	(0.2)	45,167		2.8	(1.0)
沖縄県	388	1.2%	2.7	58	125	1.1%	0.9	59	1,022	2.3%	7.0	93

二次医療圏	通所リハ	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	訪問入浴	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	短期入所	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	7,541		0.5	(0.2)	1,999		0.1	(0.1)	10,499		0.6	(0.3)
沖縄県	129	1.7%	0.9	70	7	0.4%	0.0	42	72	0.7%	0.5	44

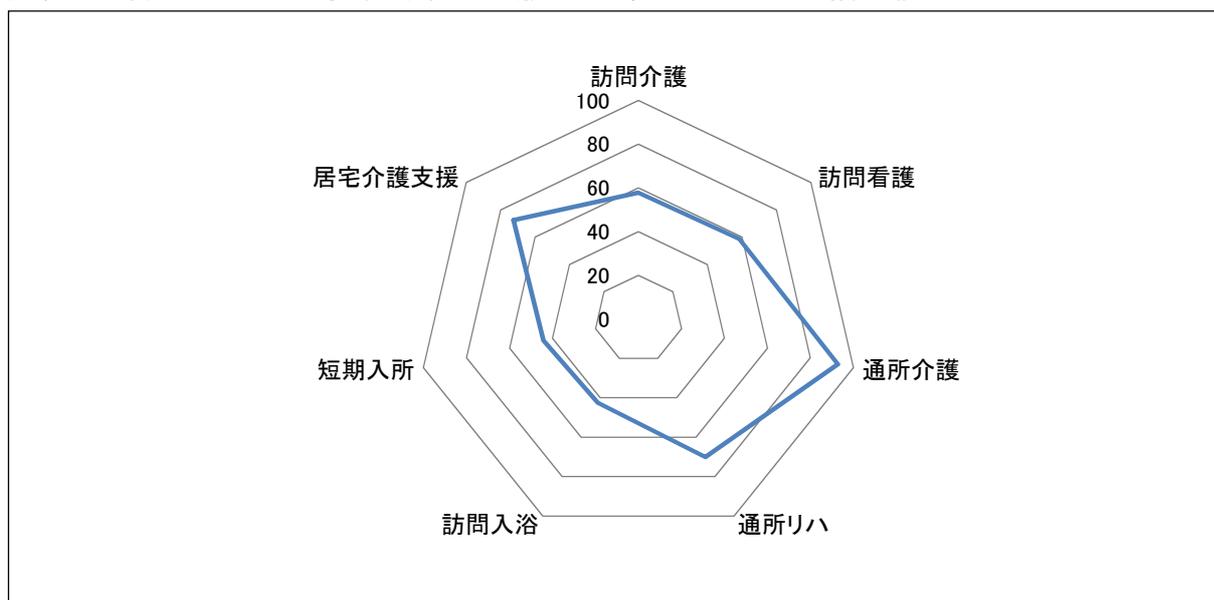
  

二次医療圏	居宅介護支援	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	40,664		2.5	(0.6)
沖縄県	549	1.4%	3.8	73

図表18 訪問介護利用者数、介護サービス従事介護職員数（在宅介護）、介護サービス従事看護師数（訪問看護）

二次医療圏	訪問介護利用者数	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護職員数(在宅)	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	看護師数(訪問)	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,218,955		74.7	(26.5)	221,659		13.6	(5.6)	51,613		3.2	(1.1)
沖縄県	7,942	0.7%	54.7	42	1,952	0.9%	13.4	50	548	1.1%	3.8	56

図表19 居宅サービス事業所数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



## 北部

### ■ 人口動態と要介護者の現状

北部は、人口101,444人である。第1号被保険者人口(65歳以上人口)は23,551人、高齢化率(65歳以上人口割合)は23%と低い。

要介護数(認定者)は3,616人、要介護認定率は15%と高い。うち要介護3以上は2,138人、要介護者数に占める割合は59%と非常に高い。

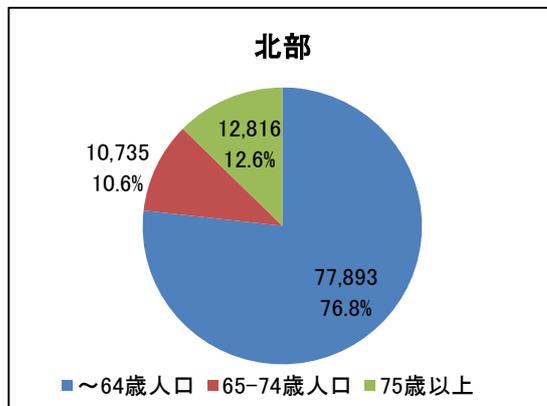
図表1 人口動態

二次医療圏	2015年人口	2015年65歳以上人口	2015年75歳以上人口	高齢化率	偏差値 *全国は標準偏差	高齢者世帯数	うち夫婦世帯比率	うち独居世帯比率
全国	127,094,745	33,867,969	16,322,237	27%	(5%)	17,668,137	34%	34%
北部	101,444	23,551	12,816	23%	43	12,876	27%	38%

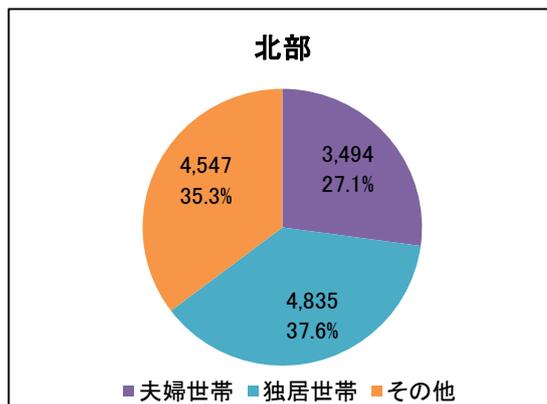
図表2 要介護者の現状

二次医療圏	要介護者数(認定者)	要介護認定率	偏差値 *全国は標準偏差	要介護3以上認定数	要介護3以上全認定者に占める比率	偏差値 *全国は標準偏差
全国	4,560,102	13%	(2%)	2,197,477	48%	(3%)
北部	3,616	15%	61	2,138	59%	82

図表3 人口動態



図表4 世帯の状況



## 北部

### ■ 医療・介護の需要(人口動態)

図表5に示すように、北部の65歳以上人口のピークは2045年、65-74歳人口のピークは2025年、75-84歳人口のピークは2035年、85歳以上人口のピークは2045年と推計されている。75歳以上人口は、2015年が12,733(7,886+4,847)人であるが、ピーク時の2040年には20,569人まで増加すると推計され、2015年比62%増加する。

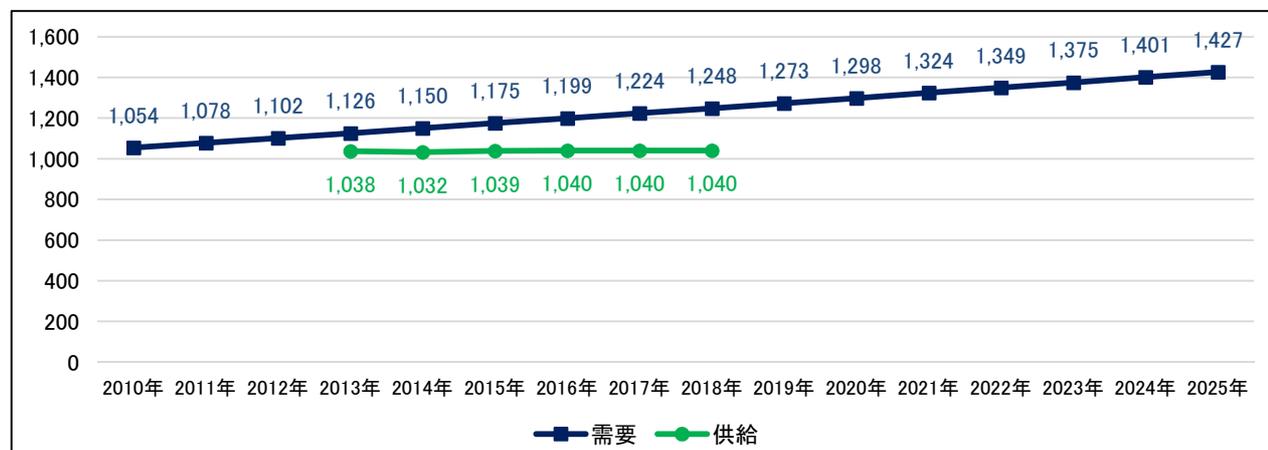
全国平均の年齢階級別高齢者施設利用率を用いて推計した高齢者施設の需要によると、北部の施設需要のピークは2045年の2,130人であり、2015年の1,175人と比べ、81%増加すると推計された。

図表5 人口構成と高齢者施設需要の推移



図表6は、北部の高齢者施設に関する2010年から2025年までの需要(必要ベッド数)予測と2014年から2018年までの供給量(高齢者施設の総ベッド数)の推移を表す。2014年は需要1,150人、供給1,032人と「供給<需要(-10%)」である。2018年は需要1,248人、供給1,040人と「供給<需要(-17%)」である。北部の高齢者施設の供給は、需要の伸びにより、2014年の不足ぎみの状況から、2018年のかなり不足の状況になった。

図表6 高齢者施設の需要と供給の推移予測



## 北部

## ■ 介護施設の状況

総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1,078人(75歳以上1,000人当たりの偏差値45)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が997床(偏差値63)、高齢者住宅等が81床(偏差値31)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設58、特別養護老人ホーム58、介護療養型医療施設58、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム40、サ高住(特定施設)なし(偏差値43)である。

高齢者施設・住宅に勤務する介護職員が偏差値68と全国平均レベルを大きく上回り、高齢者施設・住宅に勤務する看護師が偏差値54と全国平均レベルをやや上回る。

図表7 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,485,377		91	(15.2)	1,001,413		61	(12.4)	483,964		30	(12.6)
北部	1,078	9.2%	84	45	997	10.6%	78	63	81	3.5%	6	31

図表8 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護療養病床数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	366,589		22	(5.9)	575,180		35	(9.9)	59,644		3.7	(4.0)
北部	350	8.9%	27	58	559	11.5%	44	58	88	15.9%	6.9	58

図表9 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	軽費ホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	グループホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	237,141		14.5	(10.8)	23,297		1.4	(2.1)	201,436		12.3	(5.8)
北部	0	0.0%	0	37	0	0.0%	0	43	81	8.6%	6.3	40

図表10 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住)定員数

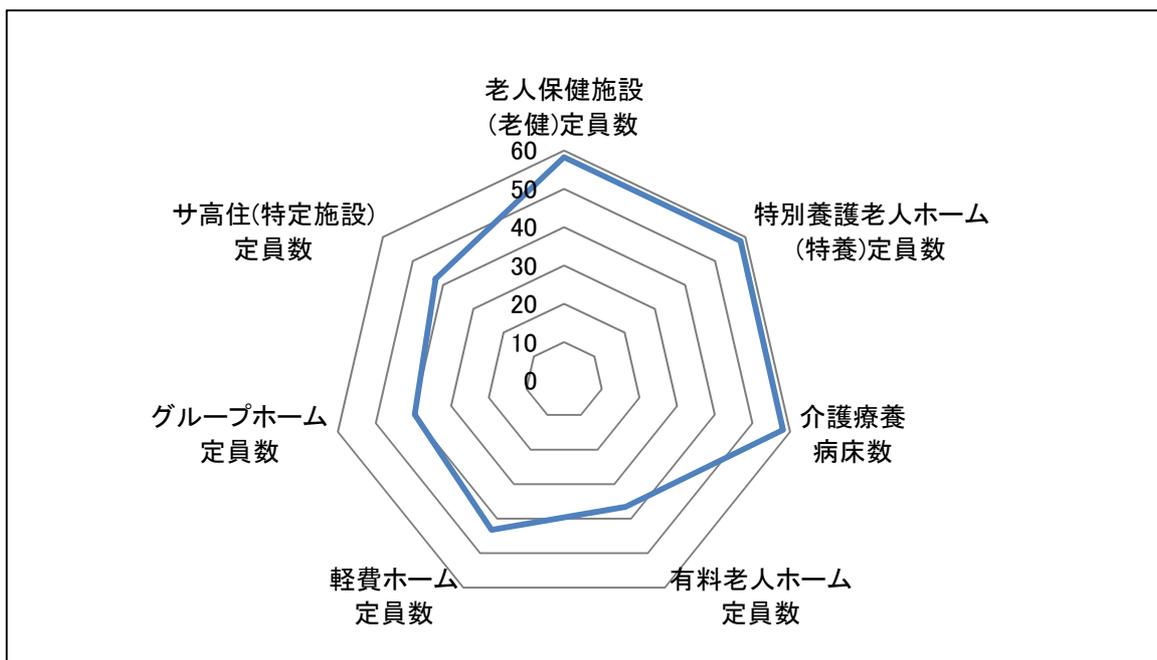
二次医療圏	サ高住(特定施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	※参考値			
全国	22,090		1.4	(1.8)	サ高住(非特定施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
北部	0	0.0%	0	43	209,785		12.9	(6.8)
					115	4.9%	9.0	44

図表11 介護サービス従事介護職員数(介護施設等)、介護サービス従事看護師数(介護施設)

二次医療圏	介護職員数(介護施設等)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	看護師数(施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,286,309		79	(11)	120,155		7.4	(2.0)
北部	1,260	8.3%	98	68	104	9.1%	8.1	54

## 北部

図表12 介護施設定員数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



図表13 介護施設の状況



## 北部

## ■ 在宅支援の状況

75歳以上人口当たり在宅療養支援病院は偏差値49と全国平均レベルである。在宅療養支援診療所数は偏差値41と少ない。

人口当たり回復期病床は偏差値69と非常に多い。人口あたり地域包括ケア病棟は偏差値48と全国平均レベルである。

図表14 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所

二次医療圏	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	1,386		0.1	(0.1)	14,224		0.9	(0.4)
北部	1	6.7%	0.1	49	6	6.3%	0.5	41

図表15 回復期病床数、地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	地域包括ケア病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	80,806		63.6	(46.5)	73,895		58.1	(57.2)
北部	154	11.4%	151.8	69	50	10.0%	49.3	48

図表16 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所の状況



## 北部

### ■ 訪問介護の状況

居宅サービスは、訪問介護の事業所数が75歳以上1,000人当たり偏差値64と多く、訪問看護が偏差値55とやや多く、通所介護が偏差値92と非常に多い。通所リハが偏差値61と多く、訪問入浴がなし（偏差値38）、短期入所が偏差値58と多く、居宅介護支援が偏差値73と非常に多い。訪問介護利用者数は偏差値46とやや少ない。

在宅介護に勤務する介護職員が偏差値60と全国平均レベルを上回り、訪問看護に従事する看護師が偏差値48と全国平均レベルである。

図表17 居宅サービス事業所数

二次医療圏	訪問介護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	通所介護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	33,714		2.1	(0.8)	10,994		0.7	(0.2)	45,167		2.8	(1.0)
北部	40	10.3%	3.1	64	10	8.0%	0.8	55	89	8.7%	6.9	92

二次医療圏	通所リハ	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	訪問入浴	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	短期入所	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	7,541		0.5	(0.2)	1,999		0.1	(0.1)	10,499		0.6	(0.3)
北部	9	7.0%	0.7	61	0	0.0%	0	38	11	15.3%	0.9	58

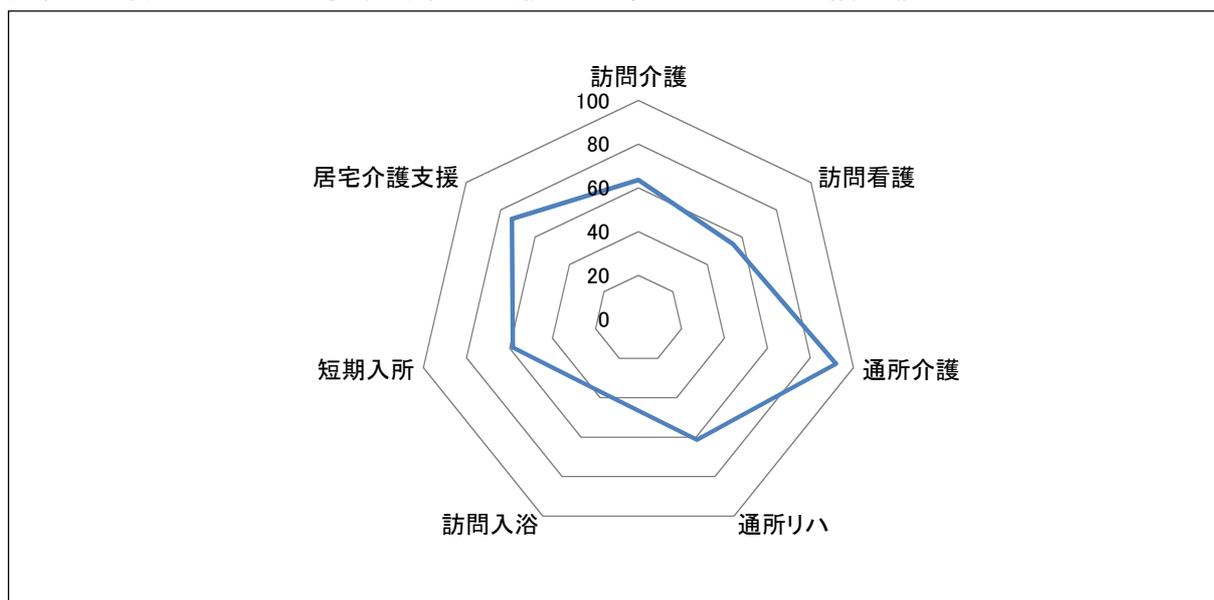
  

二次医療圏	居宅介護支援	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	40,664		2.5	(0.6)
北部	49	8.9%	3.8	73

図表18 訪問介護利用者数、介護サービス従事介護職員数（在宅介護）、介護サービス従事看護師数（訪問看護）

二次医療圏	訪問介護利用者数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護職員数(在宅)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	看護師数(訪問)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,218,955		74.7	(26.5)	221,659		13.6	(5.6)	51,613		3.2	(1.1)
北部	812	10.2%	63.4	46	248	12.7%	19.3	60	38	7.0%	3.0	48

図表19 居宅サービス事業所数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



## 中部

### ■ 人口動態と要介護者の現状

中部は、人口499,000人である。第1号被保険者人口(65歳以上人口)は94,302人、高齢化率(65歳以上人口割合)は19%と非常に低い。

要介護数(認定者)は14,510人、要介護認定率は15%と高い。うち要介護3以上は8,314人、要介護者に占める割合は57%と非常に高い。

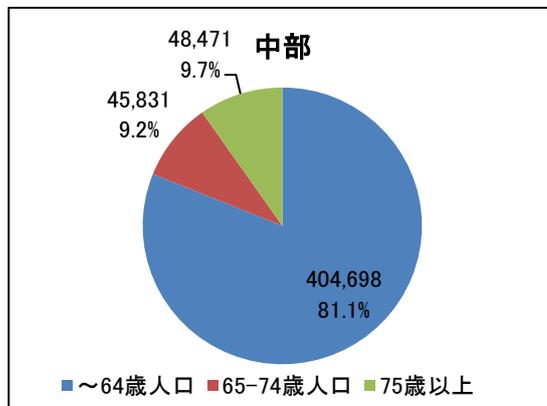
図表1 人口動態

二次医療圏	2015年人口	2015年65歳以上人口	2015年75歳以上人口	高齢化率	偏差値 *全国は標準偏差	高齢者世帯数	うち夫婦世帯比率	うち独居世帯比率
全国	127,094,745	33,867,969	16,322,237	27%	(5%)	17,668,137	34%	34%
中部	499,000	94,302	48,471	19%	35	49,774	25%	33%

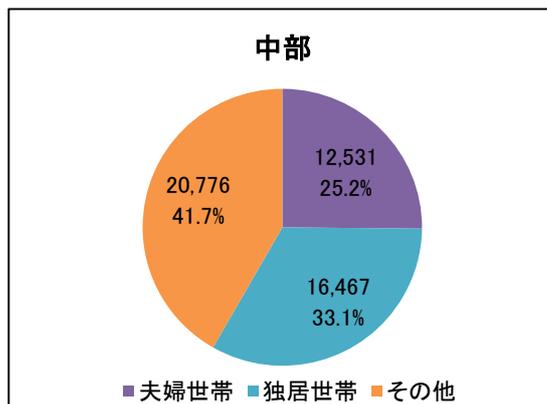
図表2 要介護者の現状

二次医療圏	要介護者数(認定者)	要介護認定率	偏差値 *全国は標準偏差	要介護3以上認定数	要介護3以上全認定者に占める比率	偏差値 *全国は標準偏差
全国	4,560,102	13%	(2%)	2,197,477	48%	(3%)
中部	14,510	15%	61	8,314	57%	77

図表3 人口動態



図表4 世帯の状況



## 中部

### ■ 医療・介護の需要(人口動態)

図表5に示すように、中部の65歳以上人口のピークは2045年、65-74歳人口のピークは2045年、75-84歳人口のピークは2045年、85歳以上人口のピークは2045年と推計されている。75歳以上人口は、2015年が47,072(33,252+13,820)人であるが、ピーク時の2045年には88,977人まで増加すると推計され、2015年比89%増加する。

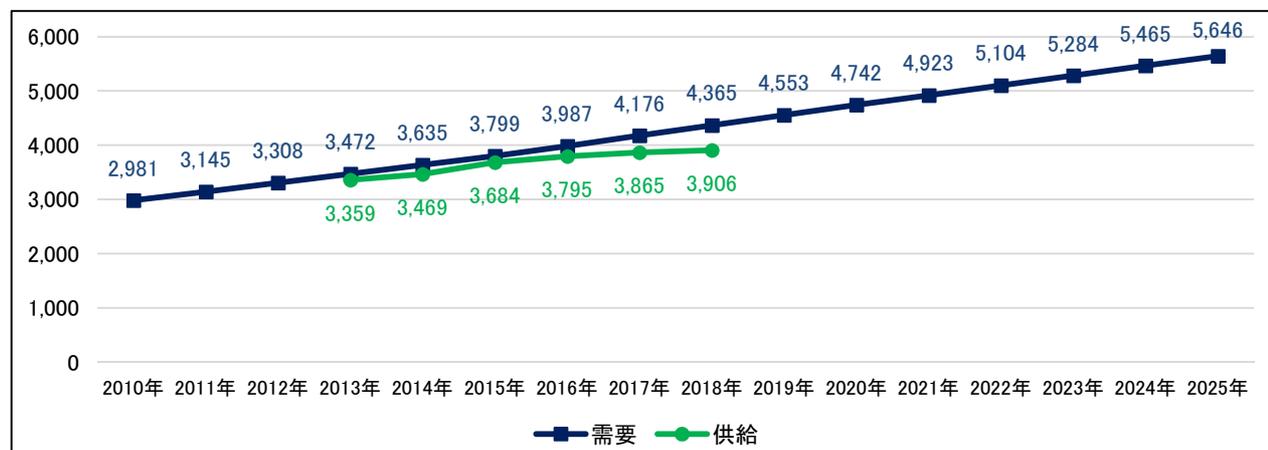
全国平均の年齢階級別高齢者施設利用率を用いて推計した高齢者施設の需要によると、中部の施設需要のピークは2045年の8,662人であり、2015年の3,799人と比べ、128%増加すると推計された。

図表5 人口構成と高齢者施設需要の推移



図表6は、中部の高齢者施設に関する2010年から2025年までの需要(必要ベッド数)予測と2014年から2018年までの供給量(高齢者施設の総ベッド数)の推移を表す。2014年は需要3,635人、供給3,469人と「供給<需要(-5%)」である。2018年は需要4,365人、供給3,906人と「供給<需要(-11%)」である。中部の高齢者施設の供給は、需要の伸びにより、2014年の需要と供給が拮抗する状況から、2018年の不足ぎみの状況になった。

図表6 高齢者施設の需要と供給の推移予測



## 中部

## ■ 介護施設の状況

総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、3,865人(75歳以上1,000人当たりの偏差値43)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が3,202床(偏差値54)、高齢者住宅等が663床(偏差値37)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設50、特別養護老人ホーム52、介護療養型医療施設55、有料老人ホーム41、軽費ホーム51、グループホーム39、サ高住(特定施設)49である。

高齢者施設・住宅に勤務する介護職員が偏差値76と全国平均レベルを大きく上回り、高齢者施設・住宅に勤務する看護師が偏差値53と全国平均レベルをやや上回る。

図表7 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,485,377		91	(15.2)	1,001,413		61	(12.4)	483,964		30	(12.6)
中部	3,865	33.1%	80	43	3,202	34.2%	66	54	663	28.8%	14	37

図表8 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護療養病床数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	366,589		22	(5.9)	575,180		35	(9.9)	59,644		3.7	(4.0)
中部	1,100	27.9%	23	50	1,821	37.3%	38	52	281	50.6%	5.8	55

図表9 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	軽費ホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	グループホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	237,141		14.5	(10.8)	23,297		1.4	(2.1)	201,436		12.3	(5.8)
中部	223	21.7%	4.6	41	80	35.6%	1.7	51	303	32.2%	6.3	39

図表10 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住)定員数

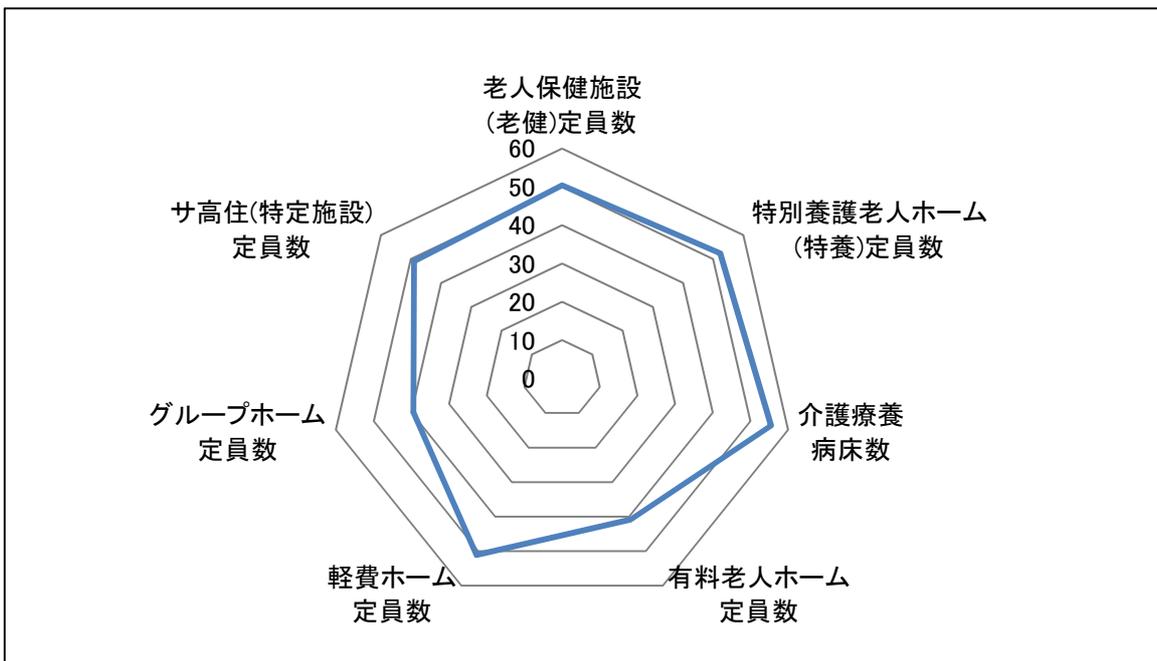
二次医療圏	サ高住(特定施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	※参考値			
全国	22,090		1.4	(1.8)	サ高住(非特定施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
中部	57	53.3%	1.2	49	209,785		12.9	(6.8)
					840	36.1%	17.3	57

図表11 介護サービス従事介護職員数(介護施設等)、介護サービス従事看護師数(介護施設)

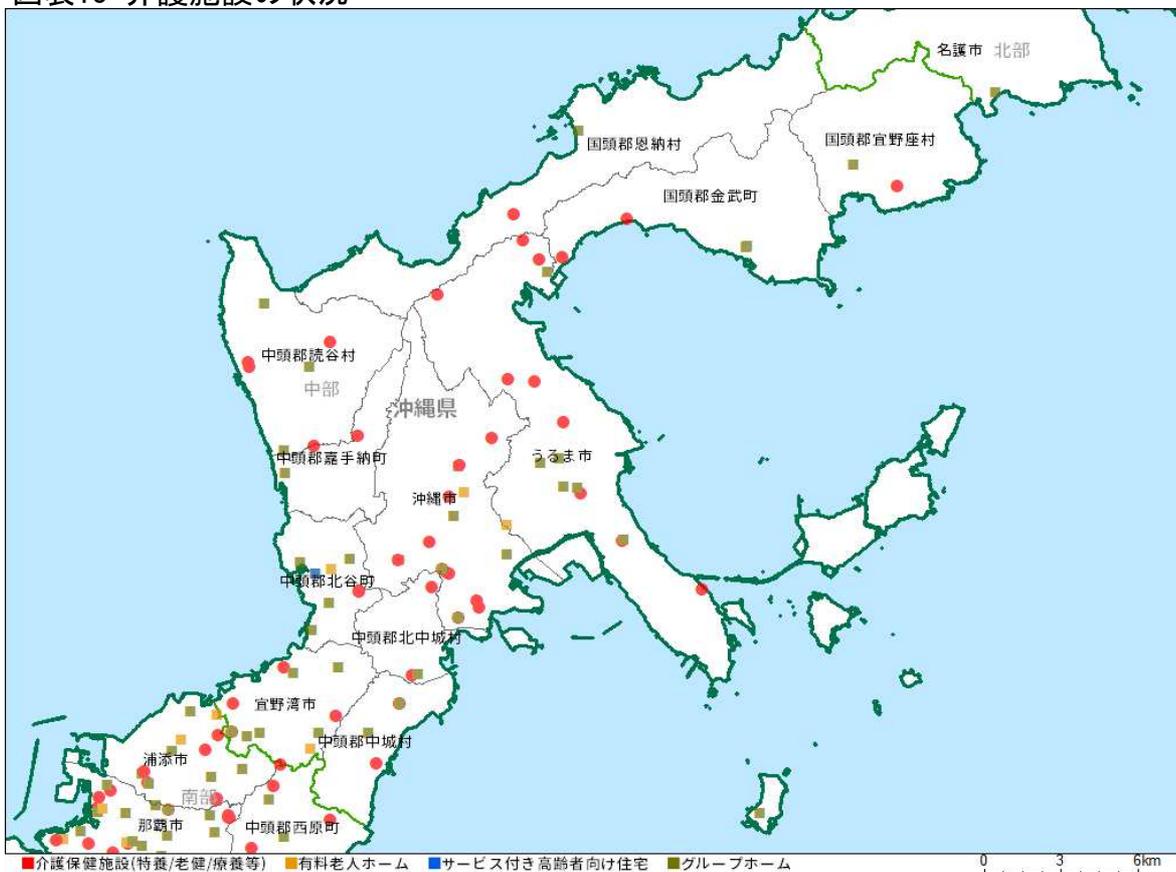
二次医療圏	介護職員数(介護施設等)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	看護師数(施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,286,309		79	(11)	120,155		7.4	(2.0)
中部	5,241	34.5%	108	76	384	33.7%	7.9	53

中部

図表12 介護施設定員数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



図表13 介護施設の状況



## 中部

## ■ 在宅支援の状況

75歳以上人口当たり在宅療養支援病院は偏差値53とやや多い。在宅療養支援診療所数は偏差値40と少ない。

人口当たり回復期病床は偏差値62と多い。人口あたり地域包括ケア病棟は偏差値46とやや少ない。

図表14 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所

二次医療圏	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	1,386		0.1	(0.1)	14,224		0.9	(0.4)
中部	5	33.3%	0.1	53	22	23.2%	0.5	40

図表15 回復期病床数、地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	地域包括ケア病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	80,806		63.6	(46.5)	73,895		58.1	(57.2)
中部	584	43.2%	117.0	62	188	37.8%	37.7	46

図表16 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所の状況



## 中部

### ■ 訪問介護の状況

居宅サービスは、訪問介護の事業所数が75歳以上1,000人当たり偏差値60と多く、訪問看護が偏差値63と多く、通所介護が偏差値105と非常に多い。通所リハが偏差値68と非常に多く、訪問入浴が偏差値42と少なく、短期入所が偏差値43と少なく、居宅介護支援が偏差値77と非常に多い。訪問介護利用者数は偏差値42と少ない。

在宅介護に勤務する介護職員が偏差値49と全国平均レベル、訪問看護に従事する看護師が偏差値56と全国平均レベルを上回る。

図表17 居宅サービス事業所数

二次医療圏	訪問介護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	訪問看護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	通所介護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差
全国	33,714		2.1	(0.8)	10,994		0.7	(0.2)	45,167		2.8	(1.0)
中部	138	35.6%	2.8	60	46	36.8%	0.9	63	400	39.1%	8.3	105

二次医療圏	通所リハ	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	訪問入浴	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	短期入所	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差
全国	7,541		0.5	(0.2)	1,999		0.1	(0.1)	10,499		0.6	(0.3)
中部	41	31.8%	0.8	68	2	28.6%	0.0	42	23	31.9%	0.5	43

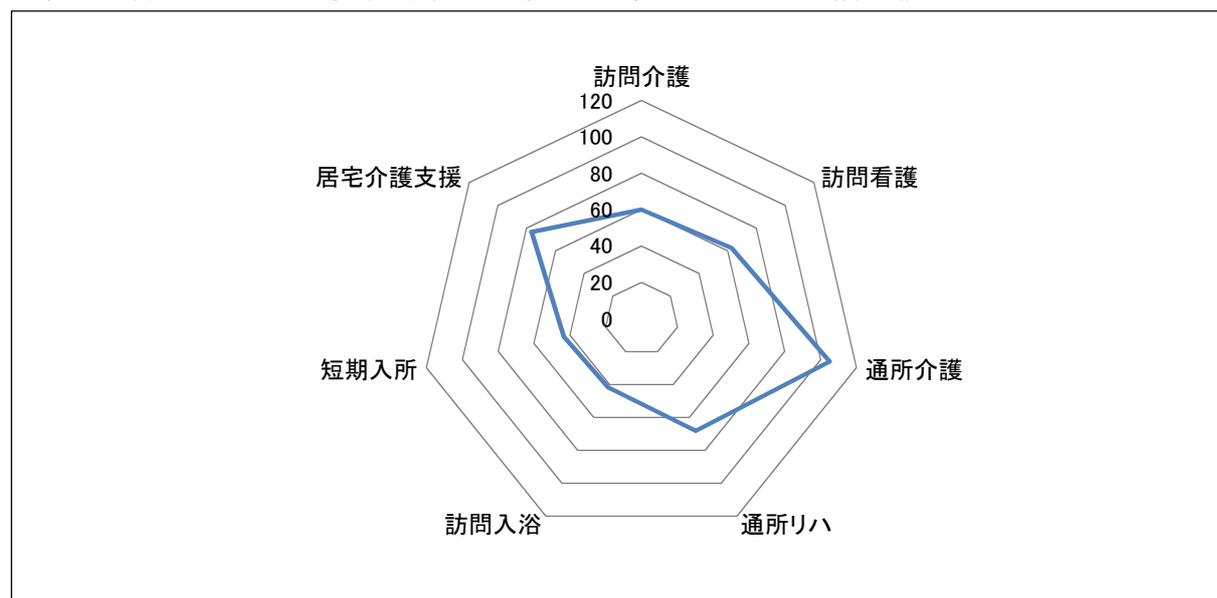
  

二次医療圏	居宅介護支援	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差
全国	40,664		2.5	(0.6)
中部	194	35.3%	4.0	77

図表18 訪問介護利用者数、介護サービス従事介護職員数（在宅介護）、介護サービス従事看護師数（訪問看護）

二次医療圏	訪問介護利用者数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	介護職員数(在宅)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	看護師数(訪問)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差
全国	1,218,955		74.7	(26.5)	221,659		13.6	(5.6)	51,613		3.2	(1.1)
中部	2,545	32.0%	52.5	42	641	32.8%	13.2	49	186	34.1%	3.8	56

図表19 居宅サービス事業所数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



## 南部

### ■ 人口動態と要介護者の現状

南部は、人口727,337人である。第1号被保険者人口(65歳以上人口)は140,932人、高齢化率(65歳以上人口割合)は19%と低い。

要介護数(認定者)は20,821人、要介護認定率は15%と高い。うち要介護3以上は12,243人、要介護者に占める割合は59%と非常に高い。

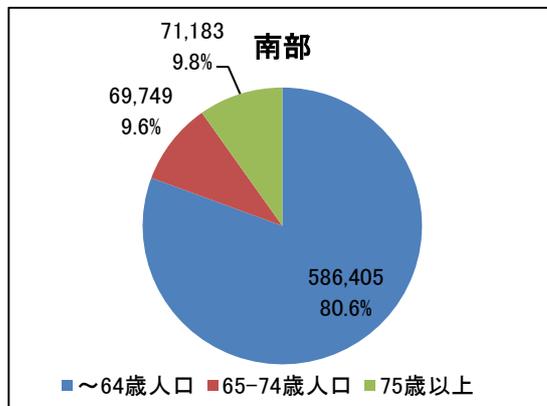
図表1 人口動態

二次医療圏	2015年人口	2015年65歳以上人口	2015年75歳以上人口	高齢化率	偏差値 *全国は標準偏差	高齢者世帯数	うち夫婦世帯比率	うち独居世帯比率
全国	127,094,745	33,867,969	16,322,237	27%	(5%)	17,668,137	34%	34%
南部	727,337	140,932	71,183	19%	36	76,919	27%	33%

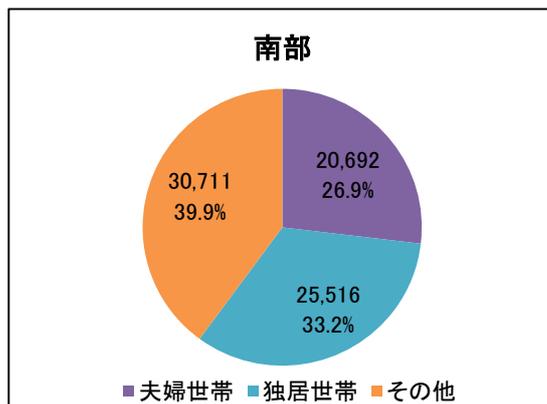
図表2 要介護者の現状

二次医療圏	要介護者数(認定者)	要介護認定率	偏差値 *全国は標準偏差	要介護3以上認定数	要介護3以上全認定者に占める比率	偏差値 *全国は標準偏差
全国	4,560,102	13%	(2%)	2,197,477	48%	(3%)
南部	20,821	15%	57	12,243	59%	82

図表3 人口動態



図表4 世帯の状況



## 南部

### ■ 医療・介護の需要(人口動態)

図表5に示すように、南部の65歳以上人口のピークは2045年、65-74歳人口のピークは2045年、75-84歳人口のピークは2035年、85歳以上人口のピークは2045年と推計されている。75歳以上人口は、2015年が69,158(49,081+20,077)人であるが、ピーク時の2045年には125,597人まで増加すると推計され、2015年比82%増加する。

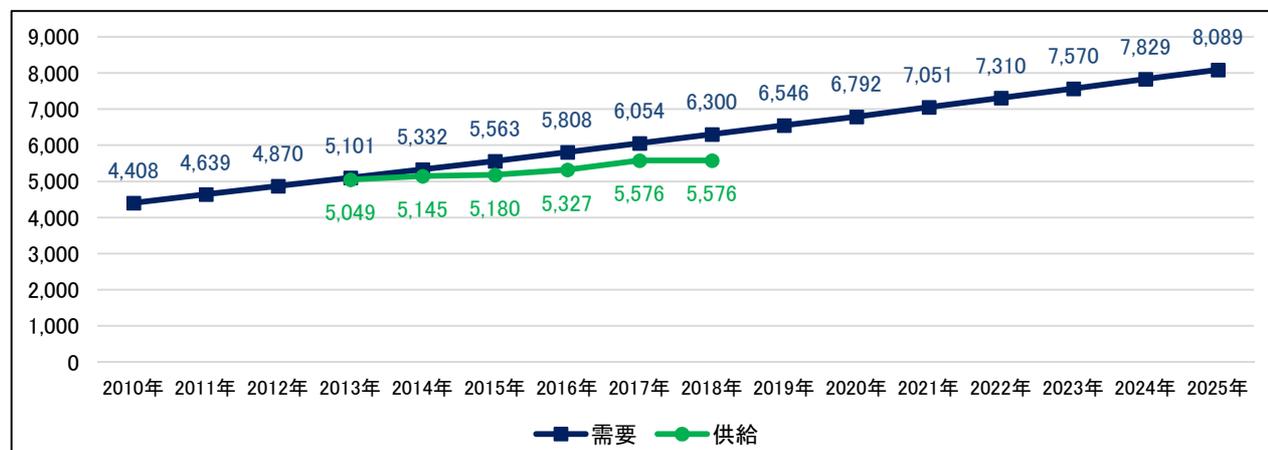
全国平均の年齢階級別高齢者施設利用率を用いて推計した高齢者施設の需要によると、南部の施設需要のピークは2045年の12,157人であり、2015年の5,563人と比べ、119%増加すると推計された。

図表5 人口構成と高齢者施設需要の推移



図表6は、南部の高齢者施設に関する2010年から2025年までの需要(必要ベッド数)予測と2014年から2018年までの供給量(高齢者施設の総ベッド数)の推移を表す。2014年は需要5,332人、供給5,145人と「供給<需要(-4%)」である。2018年は需要6,300人、供給5,576人と「供給<需要(-11%)」である。南部の高齢者施設の供給は、需要の伸びにより、2014年の需要と供給が拮抗する状況から、2018年の不足ぎみの状況になった。

図表6 高齢者施設の需要と供給の推移予測



## 南部

## ■ 介護施設の状況

総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、5,584人(75歳以上1,000人当たりの偏差値42)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が4,274床(偏差値49)、高齢者住宅等が1,310床(偏差値41)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設63、特別養護老人ホーム43、介護療養型医療施設44、有料老人ホーム46、軽費ホーム50、グループホーム40、サ高住(特定施設)なし(偏差値43)である。

高齢者施設・住宅に勤務する介護職員が偏差値72と全国平均レベルを大きく上回り、高齢者施設・住宅に勤務する看護師が偏差値49と全国平均レベルである。

図表7 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差
全国	1,485,377		91	(15.2)	1,001,413		61	(12.4)	483,964		30	(12.6)
南部	5,584	47.8%	78	42	4,274	45.6%	60	49	1,310	56.9%	18	41

図表8 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	介護療養病床数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差
全国	366,589		22	(5.9)	575,180		35	(9.9)	59,644		3.7	(4.0)
南部	2,155	54.7%	30	63	2,029	41.6%	29	43	90	16.2%	1.3	44

図表9 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	軽費ホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	グループホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差
全国	237,141		14.5	(10.8)	23,297		1.4	(2.1)	201,436		12.3	(5.8)
南部	742	72.1%	10.4	46	100	44.4%	1.4	50	468	49.7%	6.6	40

図表10 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住)定員数

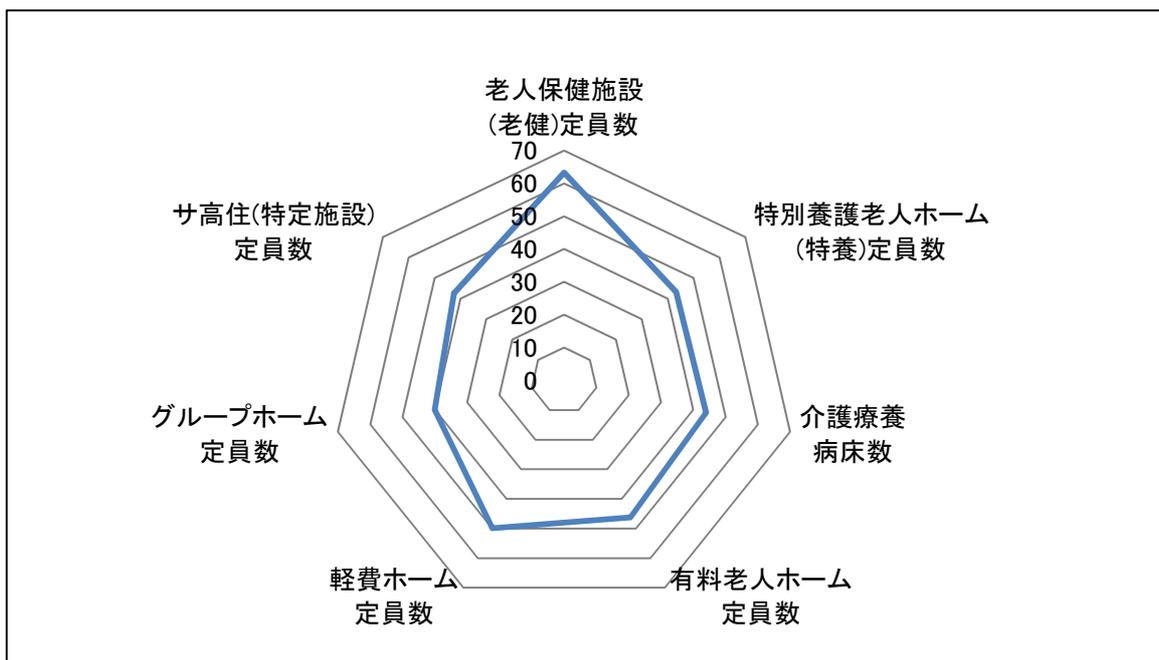
二次医療圏	サ高住(特定施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	※参考値			
全国	22,090		1.4	(1.8)	サ高住(非特定施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差
南部	0	0.0%	0	43	209,785		12.9	(6.8)
					1,311	56.4%	18.4	58

図表11 介護サービス従事介護職員数(介護施設等)、介護サービス従事看護師数(介護施設)

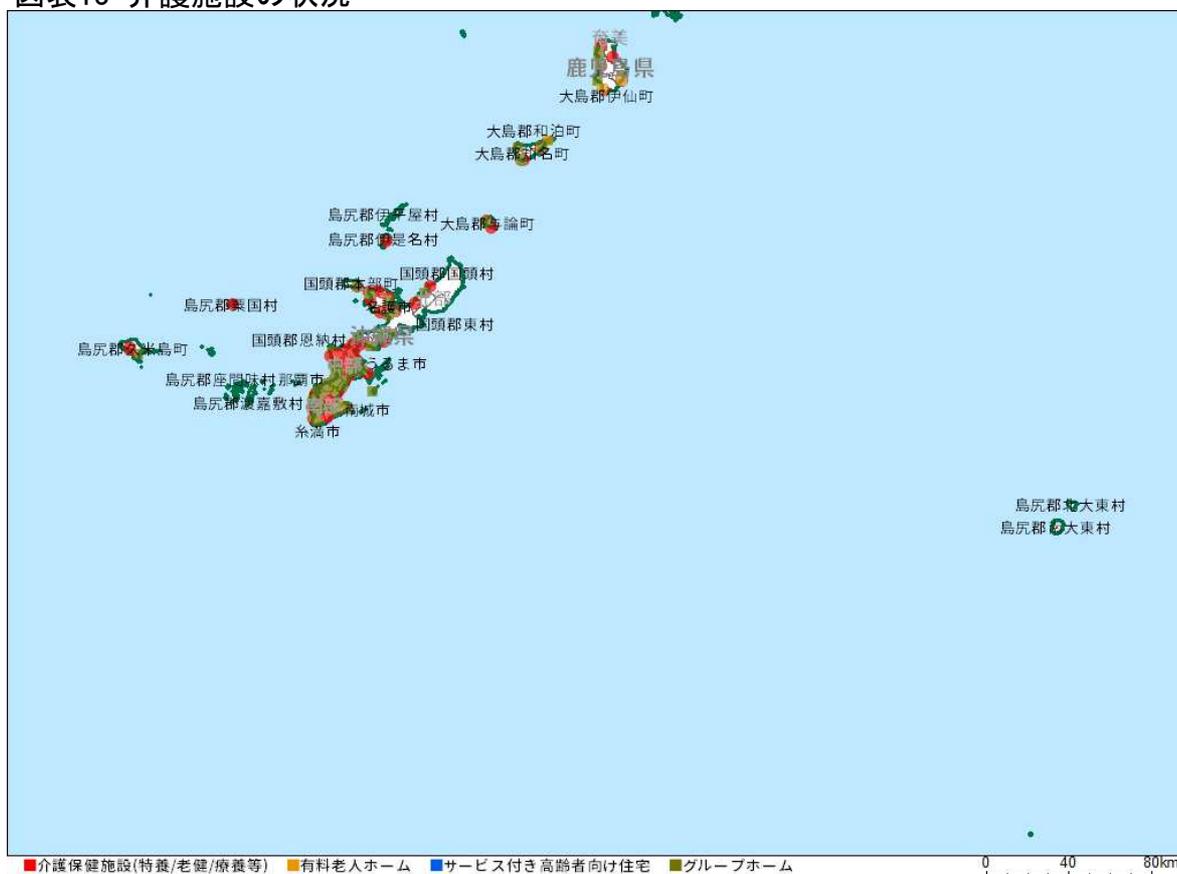
二次医療圏	介護職員数(介護施設等)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	看護師数(施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差
全国	1,286,309		79	(11)	120,155		7.4	(2.0)
南部	7,347	48.4%	103	72	510	44.6%	7.2	49

南部

図表12 介護施設定員数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



図表13 介護施設の状況



## 南部

### ■ 在宅支援の状況

75歳以上人口当たり在宅療養支援病院は偏差値56と多い。在宅療養支援診療所数は偏差値49と全国平均レベルである。

人口当たり回復期病床は偏差値53とやや多い。人口あたり地域包括ケア病棟は偏差値46とやや少ない。

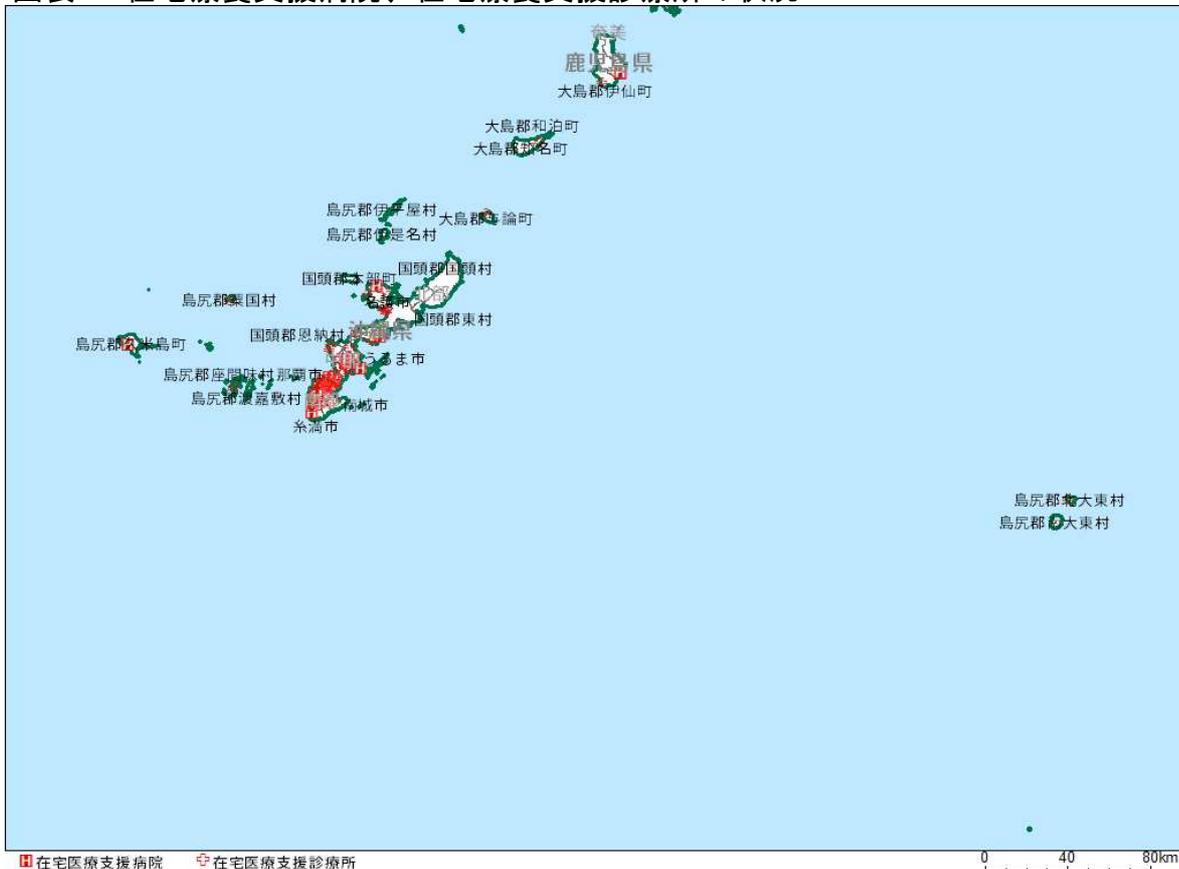
図表14 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所

二次医療圏	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	1,386		0.1	(0.1)	14,224		0.9	(0.4)
南部	9	60.0%	0.1	56	58	61.1%	0.8	49

図表15 回復期病床数、地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	地域包括ケア病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	80,806		63.6	(46.5)	73,895		58.1	(57.2)
南部	570	42.2%	78.4	53	250	50.2%	34.4	46

図表16 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所の状況



## 南部

## ■ 訪問介護の状況

居宅サービスは、訪問介護の事業所数が75歳以上1,000人当たり偏差値51と全国平均レベル、訪問看護が偏差値55とやや多く、通所介護が偏差値86と非常に多い。通所リハが偏差値73と非常に多く、訪問入浴が偏差値42と少なく、短期入所が偏差値40と少なく、居宅介護支援が偏差値64と多い。訪問介護利用者数は偏差値40と少ない。

在宅介護に勤務する介護職員が偏差値43と全国平均レベルを下回り、訪問看護に従事する看護師が偏差値57と全国平均レベルを上回る。

図表17 居宅サービス事業所数

二次医療圏	訪問介護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	通所介護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	33,714		2.1	(0.8)	10,994		0.7	(0.2)	45,167		2.8	(1.0)
南部	151	38.9%	2.1	51	55	44.0%	0.8	55	449	43.9%	6.3	86

二次医療圏	通所リハ	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	訪問入浴	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	短期入所	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	7,541		0.5	(0.2)	1,999		0.1	(0.1)	10,499		0.6	(0.3)
南部	68	52.7%	1.0	73	3	42.9%	0.0	42	28	38.9%	0.4	40

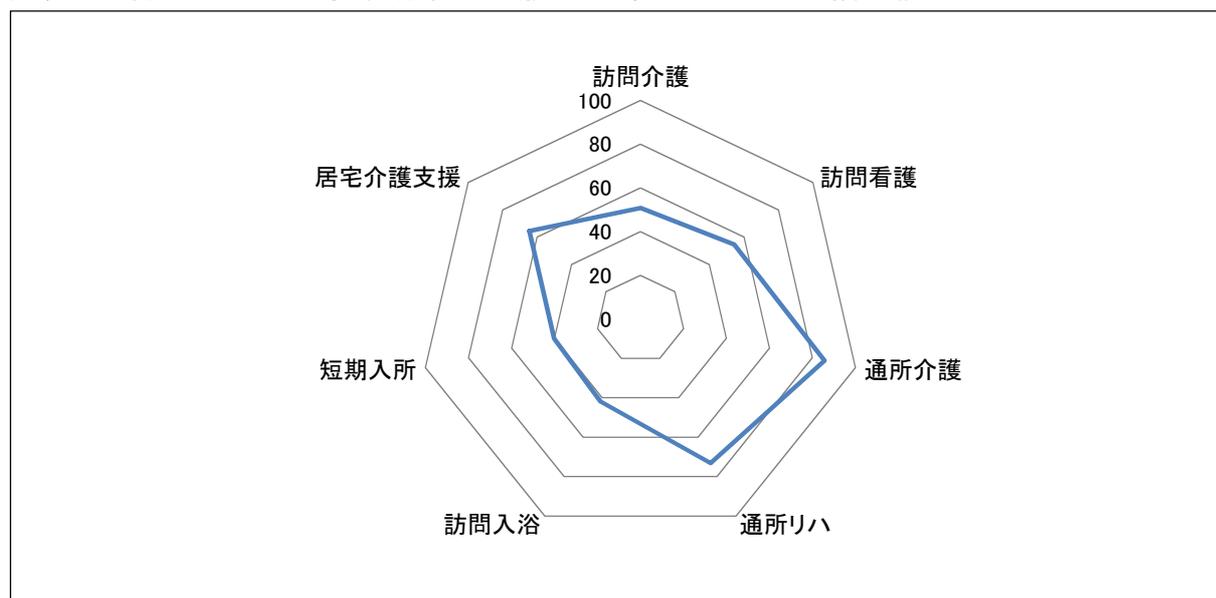
  

二次医療圏	居宅介護支援	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	40,664		2.5	(0.6)
南部	236	43.0%	3.3	64

図表18 訪問介護利用者数、介護サービス従事介護職員数（在宅介護）、介護サービス従事看護師数（訪問看護）

二次医療圏	訪問介護利用者数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護職員数(在宅)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	看護師数(訪問)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,218,955		74.7	(26.5)	221,659		13.6	(5.6)	51,613		3.2	(1.1)
南部	3,397	42.8%	47.7	40	698	35.7%	9.8	43	276	50.5%	3.9	57

図表19 居宅サービス事業所数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



## 宮古

### ■ 人口動態と要介護者の現状

宮古は、人口52,380人である。第1号被保険者人口(65歳以上人口)は13,085人、高齢化率(65歳以上人口割合)は25%とやや低い。

要介護数(認定者)は2,379人、要介護認定率は18%と非常に高い。うち要介護3以上は1,389人、要介護者数に占める割合は58%と非常に高い。

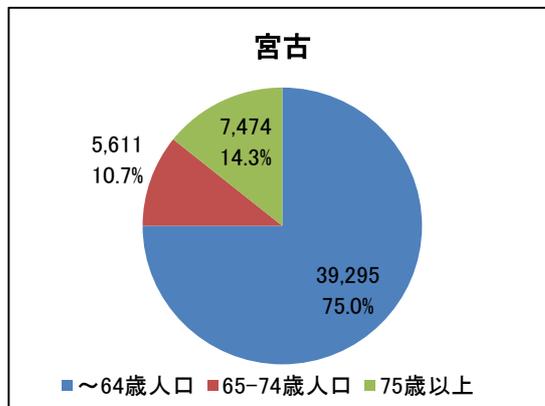
図表1 人口動態

二次医療圏	2015年人口	2015年65歳以上人口	2015年75歳以上人口	高齢化率	偏差値 *全国は標準偏差	高齢者世帯数	うち夫婦世帯比率	うち独居世帯比率
全国	127,094,745	33,867,969	16,322,237	27%	(5%)	17,668,137	34%	34%
宮古	52,380	13,085	7,474	25%	47	7,433	34%	37%

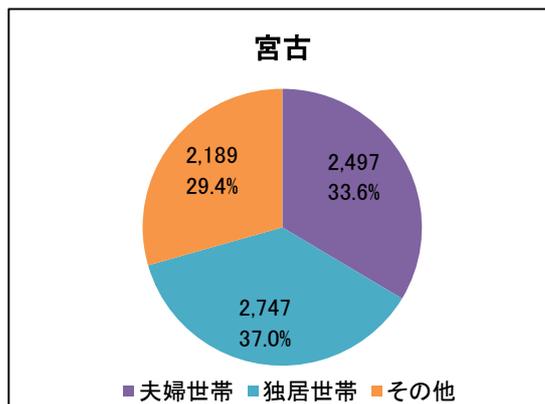
図表2 要介護者の現状

二次医療圏	要介護者数(認定者)	要介護認定率	偏差値 *全国は標準偏差	要介護3以上認定数	要介護3以上全認定者に占める比率	偏差値 *全国は標準偏差
全国	4,560,102	13%	(2%)	2,197,477	48%	(3%)
宮古	2,379	18%	76	1,389	58%	80

図表3 人口動態



図表4 世帯の状況



## 宮古

## ■ 医療・介護の需要(人口動態)

図表5に示すように、宮古の65歳以上人口のピークは2040年、65-74歳人口のピークは2025年、75-84歳人口のピークは2035年、85歳以上人口のピークは2045年と推計されている。75歳以上人口は、2015年が7,446(4,829+2,617)人であるが、ピーク時の2040年には10,380人まで増加すると推計され、2015年比39%増加する。

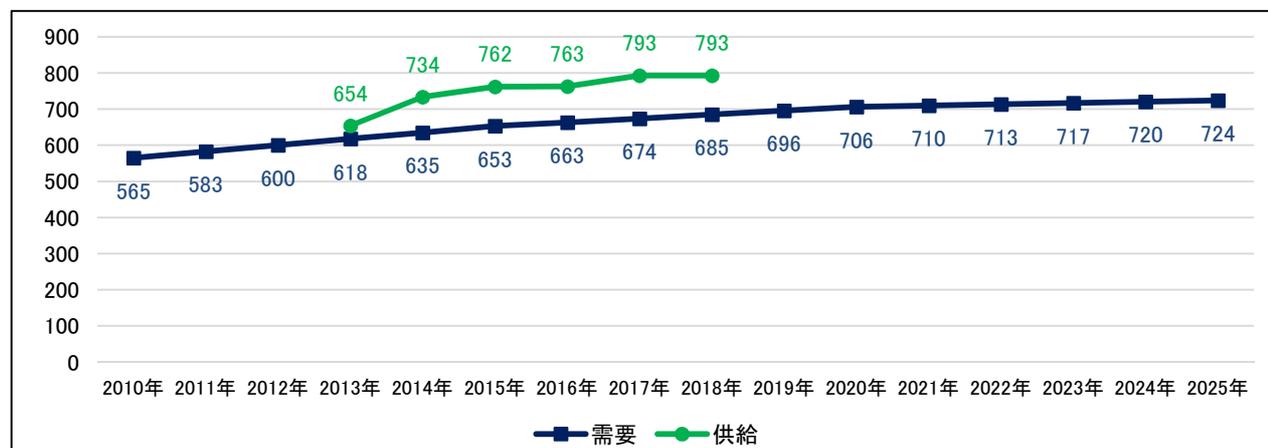
全国平均の年齢階級別高齢者施設利用率を用いて推計した高齢者施設の需要によると、宮古の施設需要のピークは2045年の994人であり、2015年の653人と比べ、52%増加すると推計された。

図表5 人口構成と高齢者施設需要の推移



図表6は、宮古の高齢者施設に関する2010年から2025年までの需要(必要ベッド数)予測と2014年から2018年までの供給量(高齢者施設の総ベッド数)の推移を表す。2014年は需要635人、供給734人と「供給>需要(+16%)」である。2018年は需要685人、供給793人と「供給>需要(+16%)」である。宮古の高齢者施設の供給は、2014年から2018年にかけて、かなり余裕のある状況が続いている。

図表6 高齢者施設の需要と供給の推移予測



## 宮古

## ■ 介護施設の状況

総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、693人(75歳以上1,000人当たりの偏差値51)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が516床(偏差値56)、高齢者住宅等が177床(偏差値45)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設53、特別養護老人ホーム47、介護療養型医療施設73、有料老人ホーム44、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム43、サ高住(特定施設)80である。

高齢者施設・住宅に勤務する介護職員が偏差値74と全国平均レベルを大きく上回り、高齢者施設・住宅に勤務する看護師が偏差値78と全国平均レベルを大きく上回る。

図表7 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,485,377		91	(15.2)	1,001,413		61	(12.4)	483,964		30	(12.6)
宮古	693	5.9%	93	51	516	5.5%	69	56	177	7.7%	24	45

図表8 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護療養病床数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	366,589		22	(5.9)	575,180		35	(9.9)	59,644		3.7	(4.0)
宮古	180	4.6%	24	53	240	4.9%	32	47	96	17.3%	12.8	73

図表9 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	軽費ホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	グループホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	237,141		14.5	(10.8)	23,297		1.4	(2.1)	201,436		12.3	(5.8)
宮古	64	6.2%	8.6	44	0	0.0%	0	43	63	6.7%	8.4	43

図表10 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住)定員数

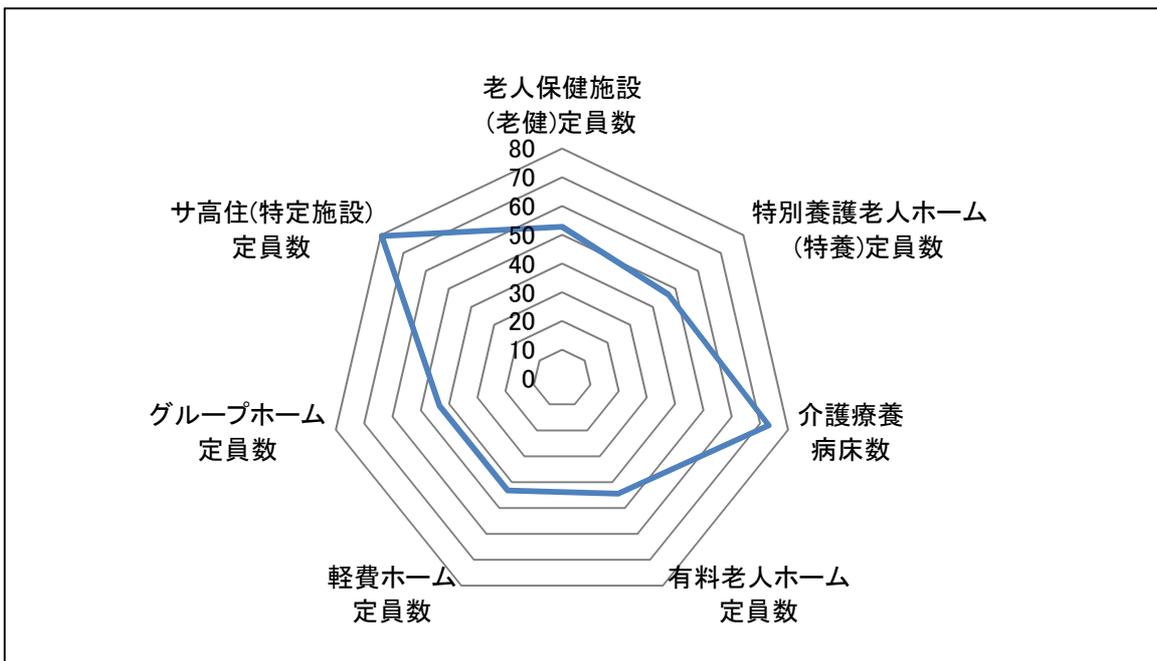
二次医療圏	サ高住(特定施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	※参考値			
全国	22,090		1.4	(1.8)	サ高住(非特定施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
宮古	50	46.7%	6.7	80	209,785		12.9	(6.8)
					0	0.0%	0	31

図表11 介護サービス従事介護職員数(介護施設等)、介護サービス従事看護師数(介護施設)

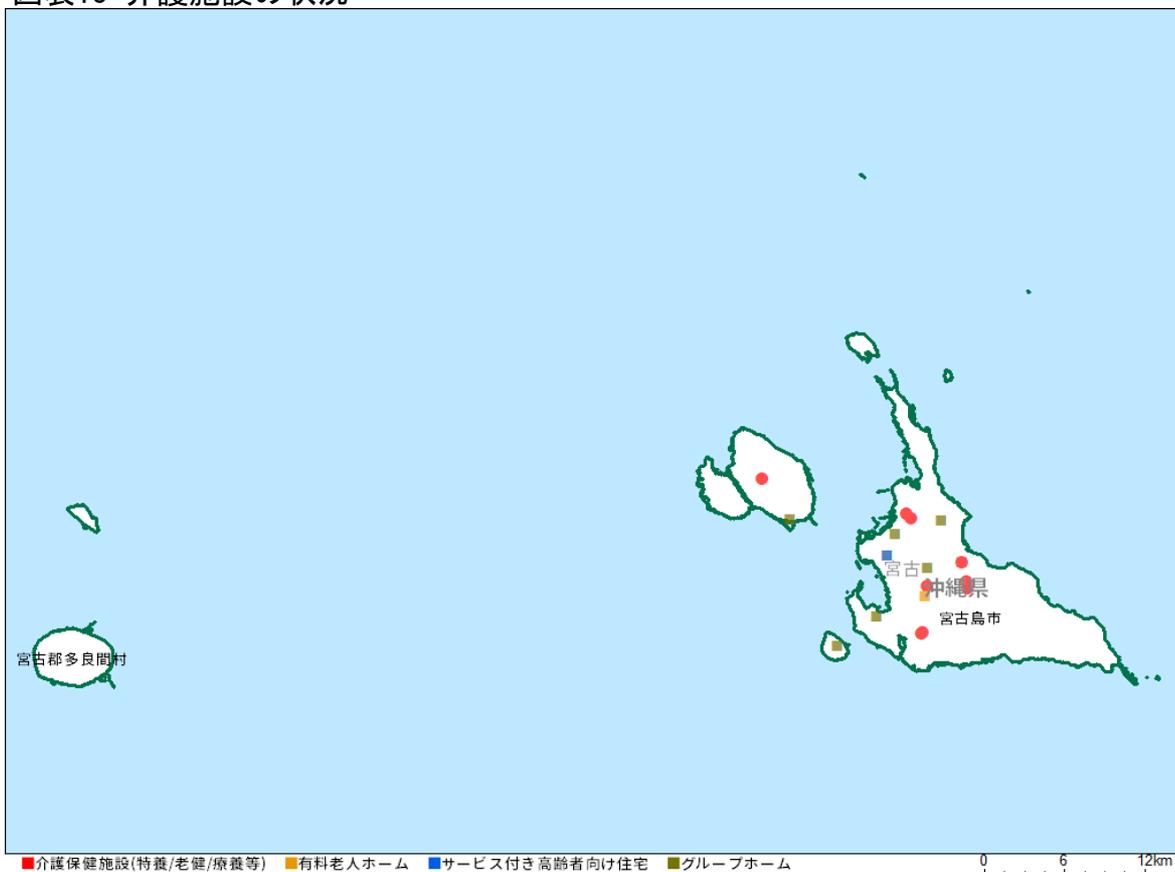
二次医療圏	介護職員数(介護施設等)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	看護師数(施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,286,309		79	(11)	120,155		7.4	(2.0)
宮古	785	5.2%	105	74	96	8.4%	12.9	78

# 宮古

図表12 介護施設定員数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



図表13 介護施設の状況



## 宮古

## ■ 在宅支援の状況

75歳以上人口当たり在宅療養支援病院はなし(偏差値38)である。在宅療養支援診療所数は偏差値51と全国平均レベルである。

人口当たり回復期病床は偏差値360である。人口あたり地域包括ケア病棟は偏差値43と少ない。

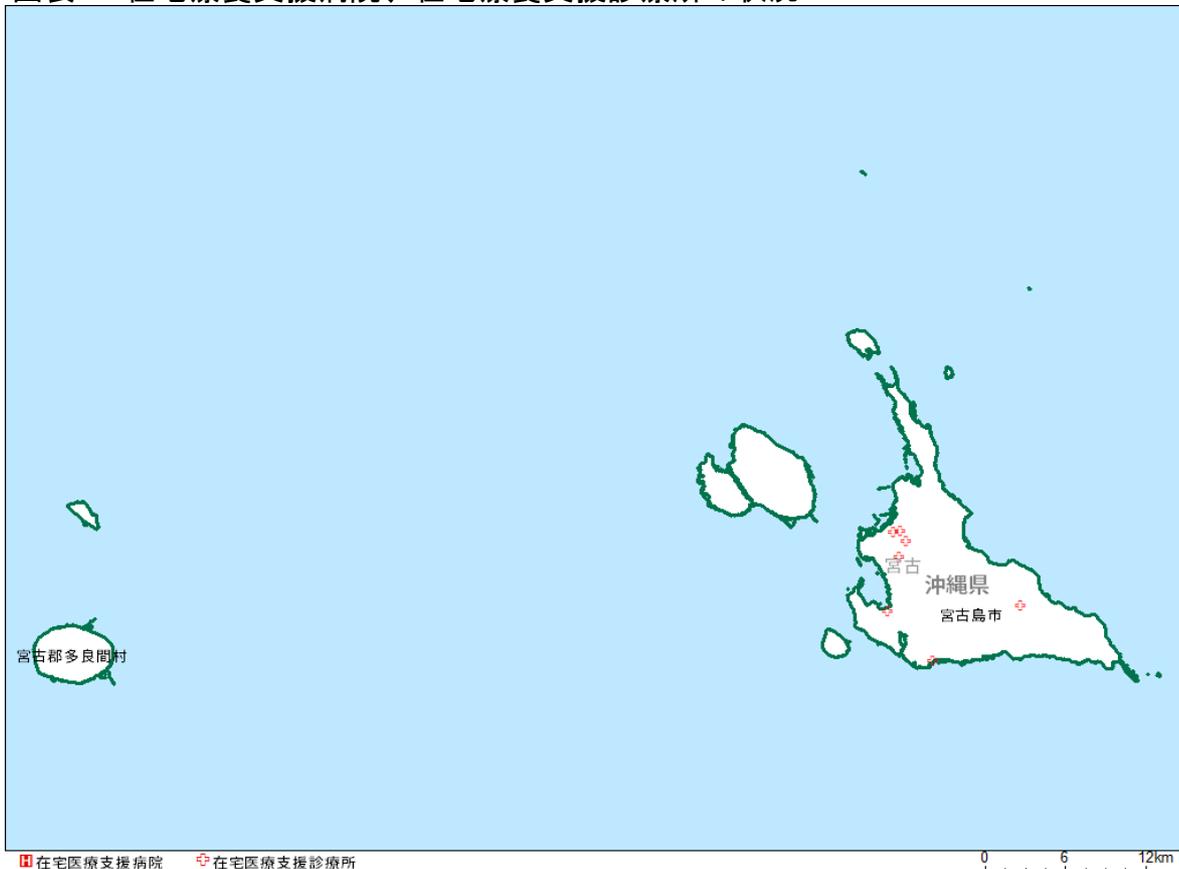
図表14 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所

二次医療圏	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	1,386		0.1	(0.1)	14,224		0.9	(0.4)
宮古	0	0.0%	0	38	7	7.4%	0.9	51

図表15 回復期病床数、地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	地域包括ケア病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	80,806		63.6	(46.5)	73,895		58.1	(57.2)
宮古	0	0.0%	0	36	10	2.0%	19.1	43

図表16 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所の状況



## 宮古

## ■ 訪問介護の状況

居宅サービスは、訪問介護の事業所数が75歳以上1,000人当たり偏差値101と非常に多く、訪問看護が偏差値68と非常に多く、通所介護が偏差値79と非常に多い。通所リハが偏差値72と非常に多く、訪問入浴が偏差値65と多く、短期入所が偏差値56と多く、居宅介護支援が偏差値114と非常に多い。訪問介護利用者数は偏差値68と非常に多い。

在宅介護に勤務する介護職員が偏差値95と全国平均レベルを大きく上回り、訪問看護に従事する看護師が偏差値57と全国平均レベルを上回る。

図表17 居宅サービス事業所数

二次医療圏	訪問介護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	通所介護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	33,714		2.1	(0.8)	10,994		0.7	(0.2)	45,167		2.8	(1.0)
宮古	45	11.6%	6.0	101	8	6.4%	1.1	68	42	4.1%	5.6	79

二次医療圏	通所リハ	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	訪問入浴	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	短期入所	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	7,541		0.5	(0.2)	1,999		0.1	(0.1)	10,499		0.6	(0.3)
宮古	7	5.4%	0.9	72	2	28.6%	0.3	65	6	8.3%	0.8	56

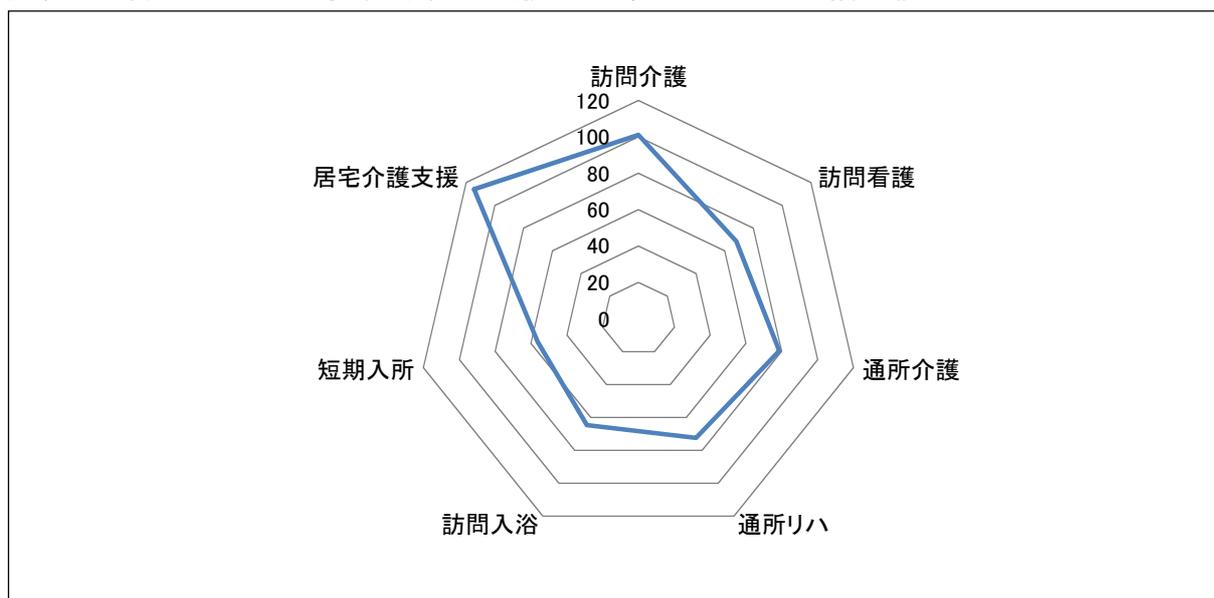
  

二次医療圏	居宅介護支援	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	40,664		2.5	(0.6)
宮古	46	8.4%	6.2	114

図表18 訪問介護利用者数、介護サービス従事介護職員数（在宅介護）、介護サービス従事看護師数（訪問看護）

二次医療圏	訪問介護利用者数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護職員数(在宅)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	看護師数(訪問)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,218,955		74.7	(26.5)	221,659		13.6	(5.6)	51,613		3.2	(1.1)
宮古	918	11.6%	122.8	68	289	14.8%	38.6	95	29	5.3%	3.9	57

図表19 居宅サービス事業所数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



## 八重山

### ■ 人口動態と要介護者の現状

八重山は、人口53,405人である。第1号被保険者人口(65歳以上人口)は10,258人、高齢化率(65歳以上人口割合)は19%と低い。

要介護数(認定者)は1,606人、要介護認定率は16%と高い。うち要介護3以上は929人、要介護者数に占める割合は58%と非常に高い。

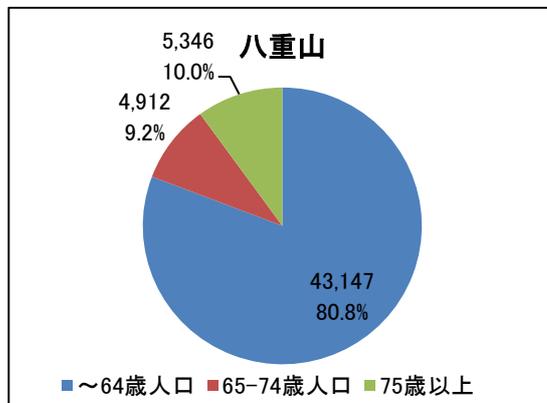
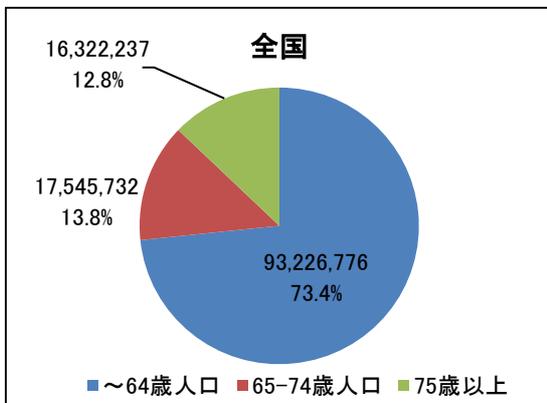
図表1 人口動態

二次医療圏	2015年人口	2015年65歳以上人口	2015年75歳以上人口	高齢化率	偏差値 *全国は標準偏差	高齢者世帯数	うち夫婦世帯比率	うち独居世帯比率
全国	127,094,745	33,867,969	16,322,237	27%	(5%)	17,668,137	34%	34%
八重山	53,405	10,258	5,346	19%	35	5,792	31%	37%

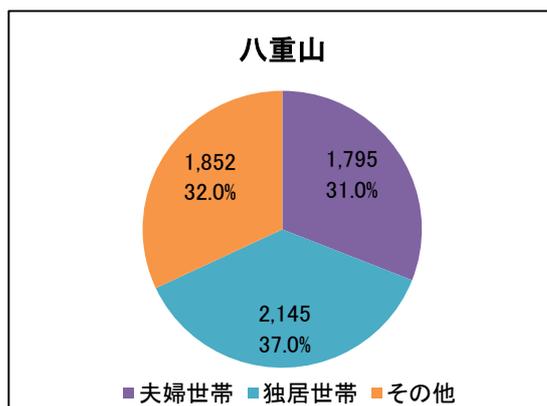
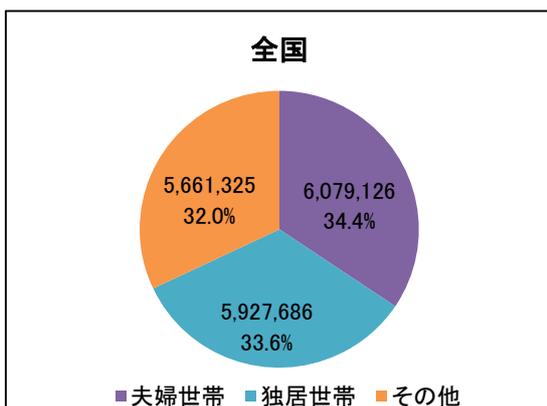
図表2 要介護者の現状

二次医療圏	要介護者数(認定者)	要介護認定率	偏差値 *全国は標準偏差	要介護3以上認定数	要介護3以上全認定者に占める比率	偏差値 *全国は標準偏差
全国	4,560,102	13%	(2%)	2,197,477	48%	(3%)
八重山	1,606	16%	62	929	58%	79

図表3 人口動態



図表4 世帯の状況



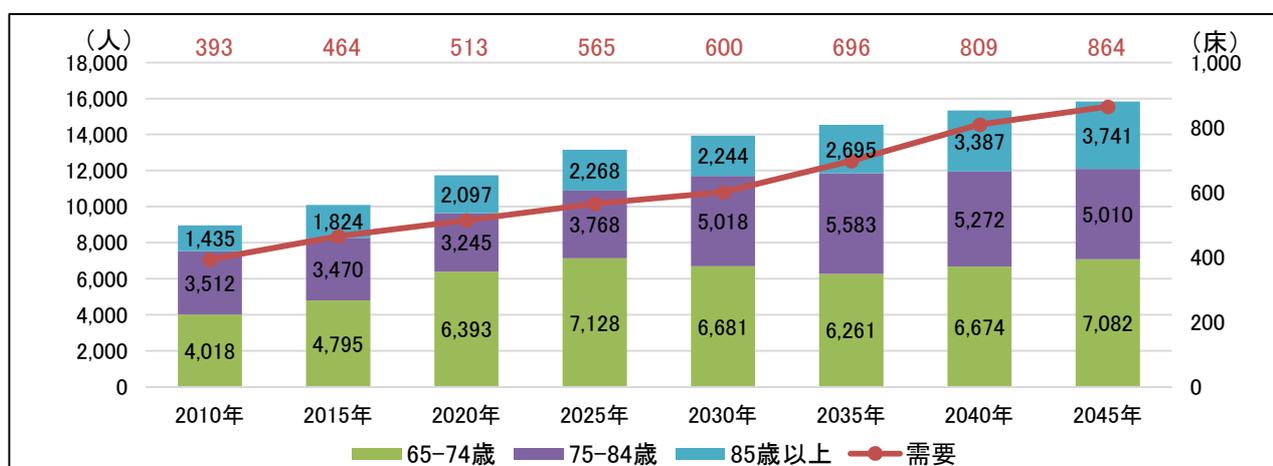
## 八重山

## ■ 医療・介護の需要(人口動態)

図表5に示すように、八重山の65歳以上人口のピークは2045年、65-74歳人口のピークは2025年、75-84歳人口のピークは2035年、85歳以上人口のピークは2045年と推計されている。75歳以上人口は、2015年が5,294(3,470+1,824)人であるが、ピーク時の2045年には8,751人まで増加すると推計され、2015年比65%増加する。

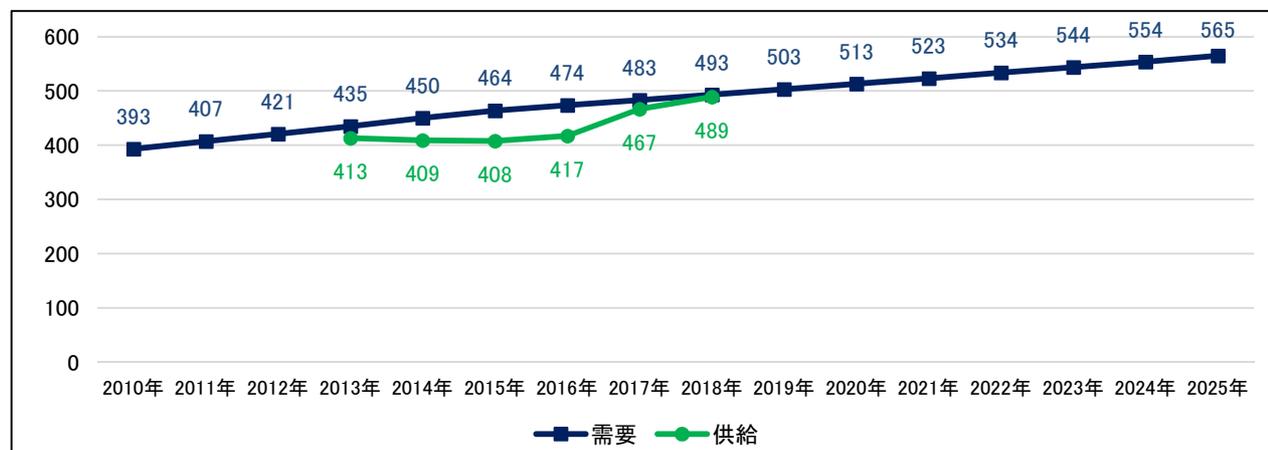
全国平均の年齢階級別高齢者施設利用率を用いて推計した高齢者施設の需要によると、八重山の施設需要のピークは2045年の864人であり、2015年の464人と比べ、86%増加すると推計された。

図表5 人口構成と高齢者施設需要の推移



図表6は、八重山の高齢者施設に関する2010年から2025年までの需要(必要ベッド数)予測と2014年から2018年までの供給量(高齢者施設の総ベッド数)の推移を表す。2014年は需要450人、供給409人と「供給<需要(-9%)」である。2018年は需要493人、供給489人と「供給<需要(-1%)」である。八重山の高齢者施設の供給は、2014年の不足ぎみの状況から、2018年の需要と供給が拮抗する状況になった。

図表6 高齢者施設の需要と供給の推移予測



## 八重山

## ■ 介護施設の状況

総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、458人(75歳以上1,000人当たりの偏差値46)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が386床(偏差値59)、高齢者住宅等が72床(偏差値37)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設61、特別養護老人ホーム58、介護療養型医療施設なし(偏差値41)、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホーム83、グループホーム37、サ高住(特定施設)なし(偏差値43)である。

高齢者施設・住宅に勤務する介護職員が偏差値72と全国平均レベルを大きく上回り、高齢者施設・住宅に勤務する看護師が偏差値57と全国平均レベルを上回る。

図表7 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,485,377		91	(15.2)	1,001,413		61	(12.4)	483,964		30	(12.6)
八重山	458	3.9%	86	46	386	4.1%	72	59	72	3.1%	13	37

図表8 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護療養病床数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	366,589		22	(5.9)	575,180		35	(9.9)	59,644		3.7	(4.0)
八重山	156	4.0%	29	61	230	4.7%	43	58	0	0.0%	0	41

図表9 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	軽費ホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	グループホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	237,141		14.5	(10.8)	23,297		1.4	(2.1)	201,436		12.3	(5.8)
八重山	0	0.0%	0	37	45	20.0%	8.4	83	27	2.9%	5.1	37

図表10 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住)定員数

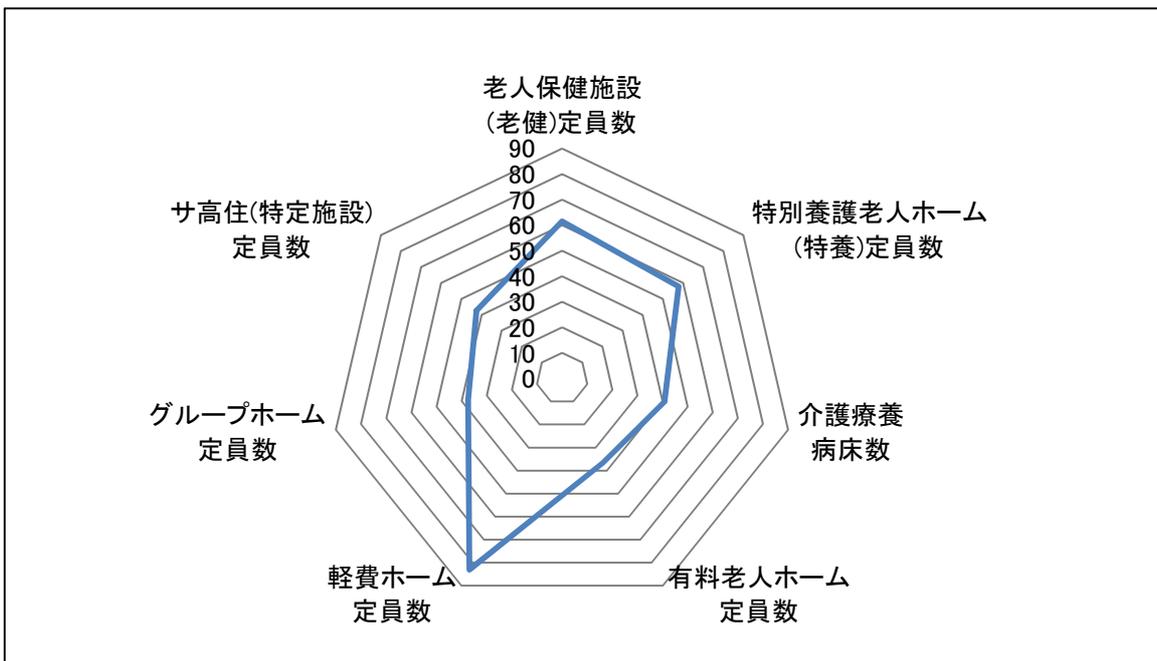
二次医療圏	サ高住(特定施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	※参考値			
全国	22,090		1.4	(1.8)	サ高住(非特定施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
八重山	0	0.0%	0	43	209,785		12.9	(6.8)
					60	2.6%	11.2	48

図表11 介護サービス従事介護職員数(介護施設等)、介護サービス従事看護師数(介護施設)

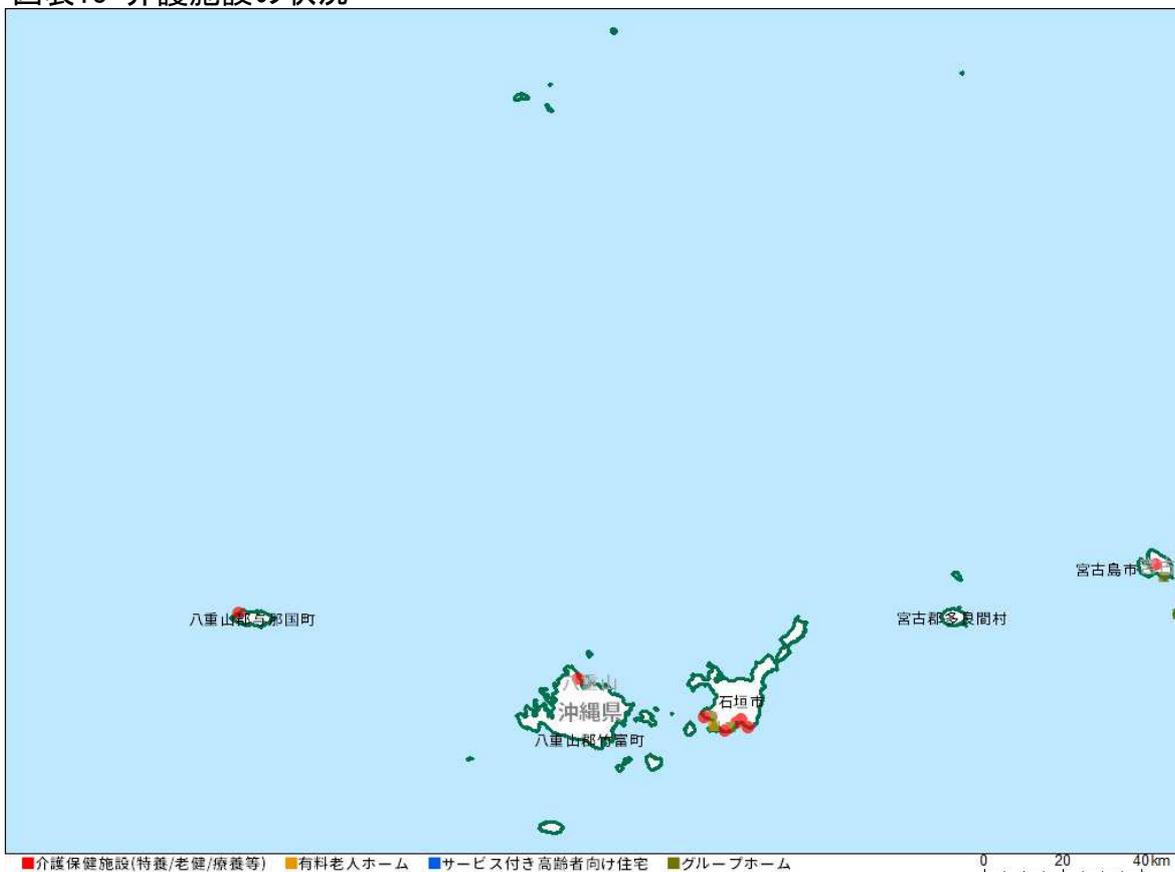
二次医療圏	介護職員数(介護施設等)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	看護師数(施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,286,309		79	(11)	120,155		7.4	(2.0)
八重山	551	3.6%	103	72	47	4.1%	8.8	57

# 八重山

図表12 介護施設定員数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



図表13 介護施設の状況



## 八重山

### ■ 在宅支援の状況

75歳以上人口当たり在宅療養支援病院はなし(偏差値38)である。在宅療養支援診療所数は偏差値39と少ない。

人口当たり回復期病床は偏差値54とやや多い。人口あたり地域包括ケア病棟は偏差値400である。

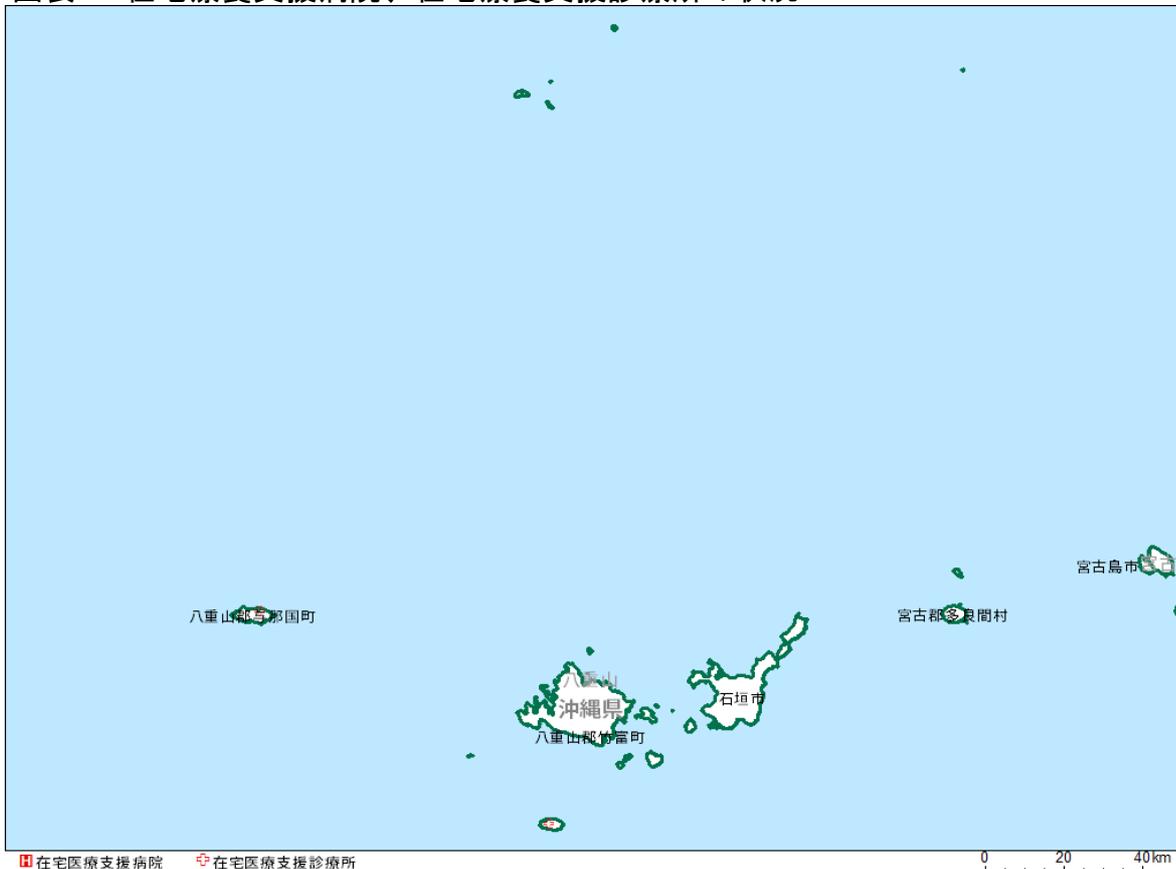
図表14 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所

二次医療圏	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	1,386		0.1	(0.1)	14,224		0.9	(0.4)
八重山	0	0.0%	0	38	2	2.1%	0.4	39

図表15 回復期病床数、地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	地域包括ケア病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	80,806		63.6	(46.5)	73,895		58.1	(57.2)
八重山	44	3.3%	82.4	54	0	0.0%	0	40

図表16 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所の状況



## 八重山

## ■ 訪問介護の状況

居宅サービスは、訪問介護の事業所数が75歳以上1,000人当たり偏差値57と多く、訪問看護が偏差値71と非常に多く、通所介護が偏差値101と非常に多い。通所リハが偏差値63と多く、訪問入浴がなし(偏差値38)、短期入所が偏差値54とやや多く、居宅介護支援が偏差値85と非常に多い。訪問介護利用者数は偏差値41と少ない。

在宅介護に勤務する介護職員が偏差値51と全国平均レベル、訪問看護に従事する看護師が偏差値51と全国平均レベルである。

図表17 居宅サービス事業所数

二次医療圏	訪問介護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	通所介護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	33,714		2.1	(0.8)	10,994		0.7	(0.2)	45,167		2.8	(1.0)
八重山	14	3.6%	2.6	57	6	4.8%	1.1	71	42	4.1%	7.9	101

二次医療圏	通所リハ	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	訪問入浴	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	短期入所	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	7,541		0.5	(0.2)	1,999		0.1	(0.1)	10,499		0.6	(0.3)
八重山	4	3.1%	0.7	63	0	0.0%	0	38	4	5.6%	0.7	54

二次医療圏	居宅介護支援	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	40,664		2.5	(0.6)
八重山	24	4.4%	4.5	85

図表18 訪問介護利用者数、介護サービス従事介護職員数（在宅介護）、介護サービス従事看護師数（訪問看護）

二次医療圏	訪問介護利用者数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護職員数(在宅)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	看護師数(訪問)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,218,955		74.7	(26.5)	221,659		13.6	(5.6)	51,613		3.2	(1.1)
八重山	270	3.4%	50.5	41	77	4.0%	14.4	51	17	3.2%	3.3	51

図表19 居宅サービス事業所数（75歳以上1,000人当りの偏差値）

